

江南市介護保険及び高齢者福祉実態調査報告書（概要版）について

令和9年度から令和11年度までを計画期間とする、第10期介護保険事業計画、高齢者福祉計画及び認知症施策推進計画の策定にあたり、高齢者等の健康状態や介護保険サービスに対する要望等を把握するため、アンケート調査を実施しました。

1 実施期間

令和8年2月12日(木)～3月13日(金)

2 配布・回収状況

(単位：人)

調 査 名	配 布 数(A)	回 答 数(B)	有効回答率(B/A)	【参考】前回回答率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	2,000	1,399	70.0%	63.2%
在宅介護実態調査	1,000	838	83.8%	73.8%

(調査対象者)

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査：市内在住の要介護認定者(要介護1～5)を除く65歳以上の高齢者

在宅介護実態調査：市内で主に在宅で要介護1～5の認定を受けている方

3 調査結果（抜粋）

(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

- 回答者の年齢構成は、前回調査に比べ、70歳から74歳の割合が5.1%減少し、75歳から89歳の割合が高く、やや高齢化となっています。
- 概要版に掲載している調査項目は、前回調査から大きく変化が見られた項目、新たに追加した項目、市独自項目から主なものを選択しています。

(2) 在宅介護実態調査

- 調査対象者の年齢構成は、前回調査に比べ、90歳以上の割合が多いです。
また、主な介護者の年齢構成は、60代が最も多く、次いで50代が多いです。
- 概要版に掲載している調査項目は、在宅介護や介護離職に関する項目、市独自項目から主なものを選択しています。

(3) 終末期の考え方について

- 終末期の考え方については、要介護認定の有無に限らず、高齢者全体に共通する内容であることから、市独自の調査項目として、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査において共通の項目で調査しました。

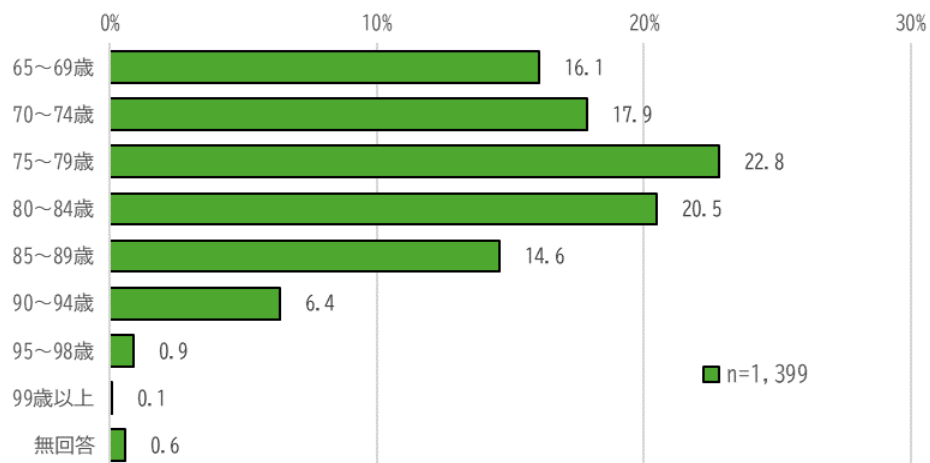
(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

○あなた自身のことについて

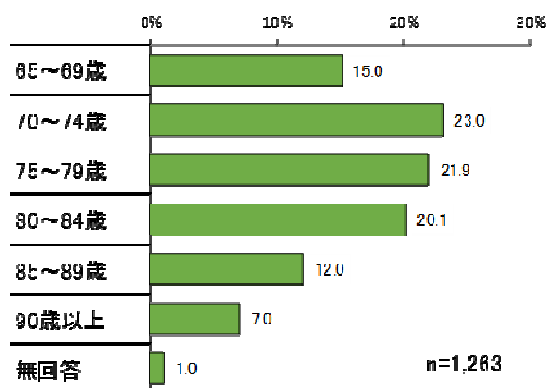
年齢はおいくつですか。（○は1つ）※令和8年1月1日現在

「75～79歳」が22.8%で最も高く、次いで「80～84歳」が20.5%、「70～74歳」が17.9%となっています。

R7



R4

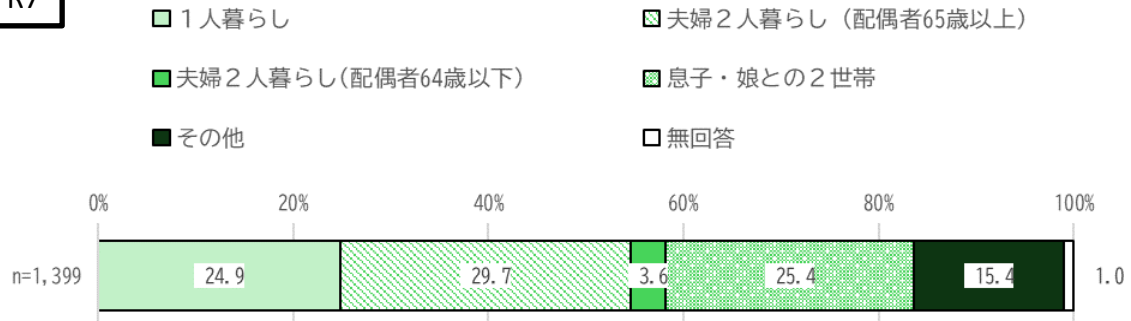


問1 ご家族や生活状況について

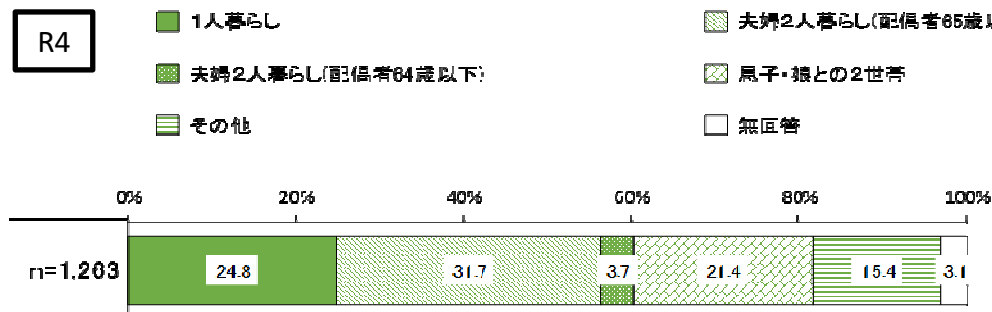
(1) 家族構成をお教えてください (○は1つ)

「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が29.7%で最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」が25.4%、「1人暮らし」が24.9%となっています。

R7



R4

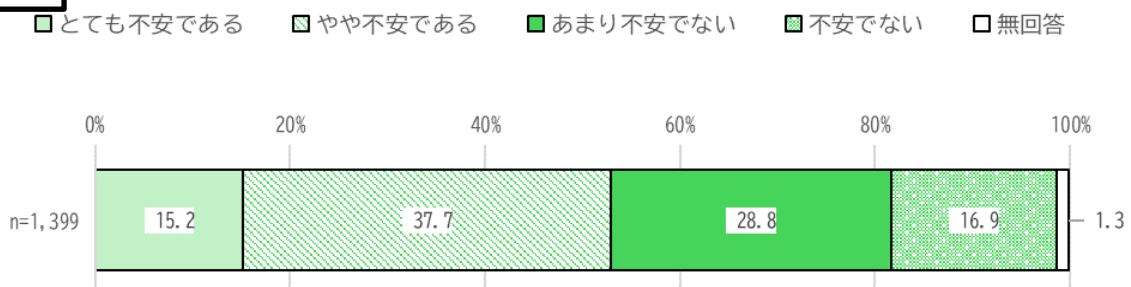


問2 からだを動かすことについて

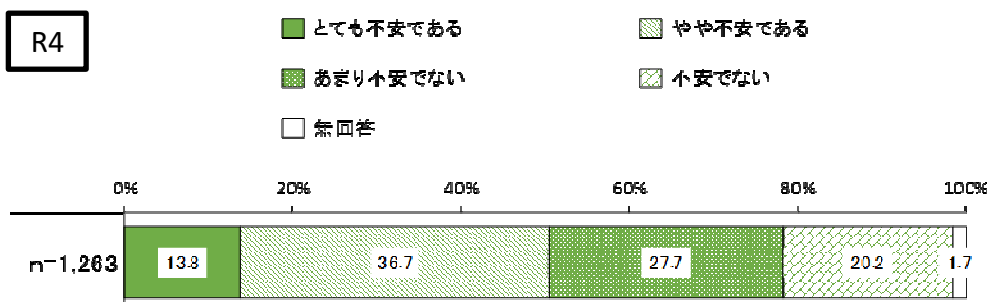
(5) 転倒に対する不安は大きいですか (○は1つ)

「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた『不安である』が52.9%であり、前回調査50.5%から微増しています。

R7



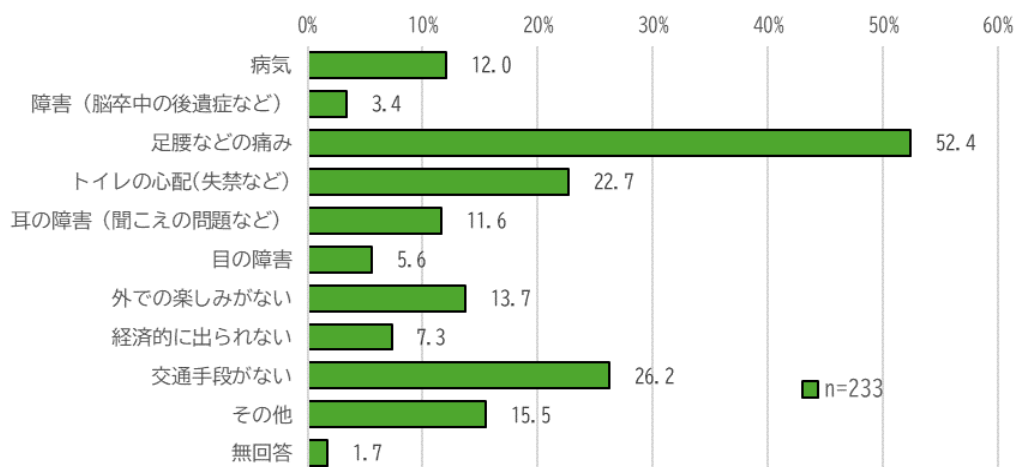
R4



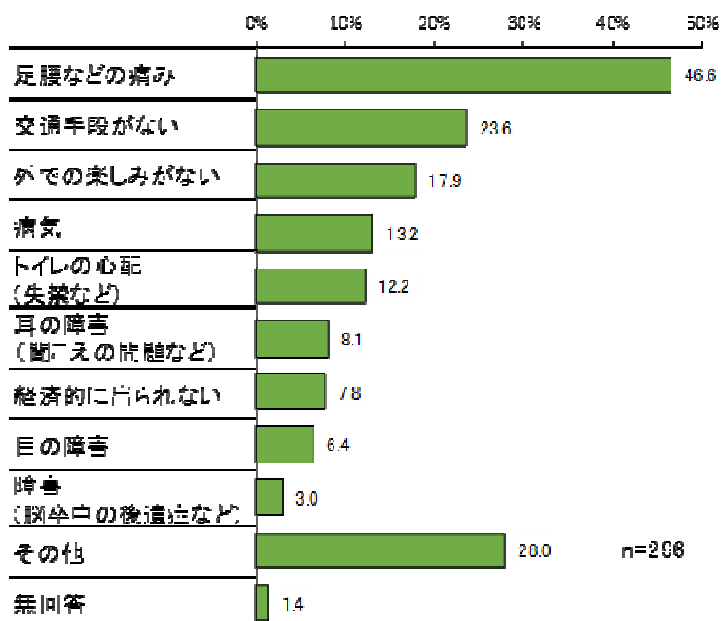
(8) — 1 外出を控えている理由は、次のどれですか（いくつでも）

外出を控えている方16.7%（233人）のうち、外出を控えている理由として、「足腰などの痛み」が52.4%で最も高く、前回調査46.6%から5.8%増加しています。

R7



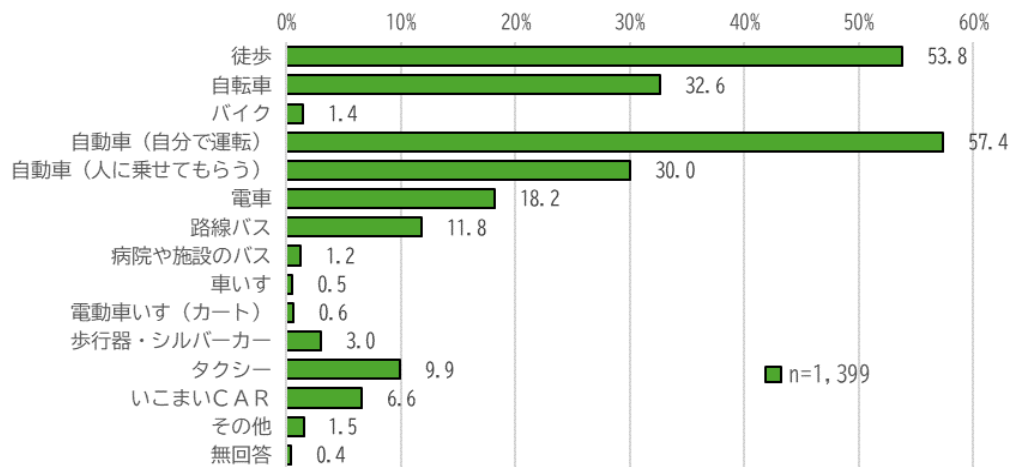
R4



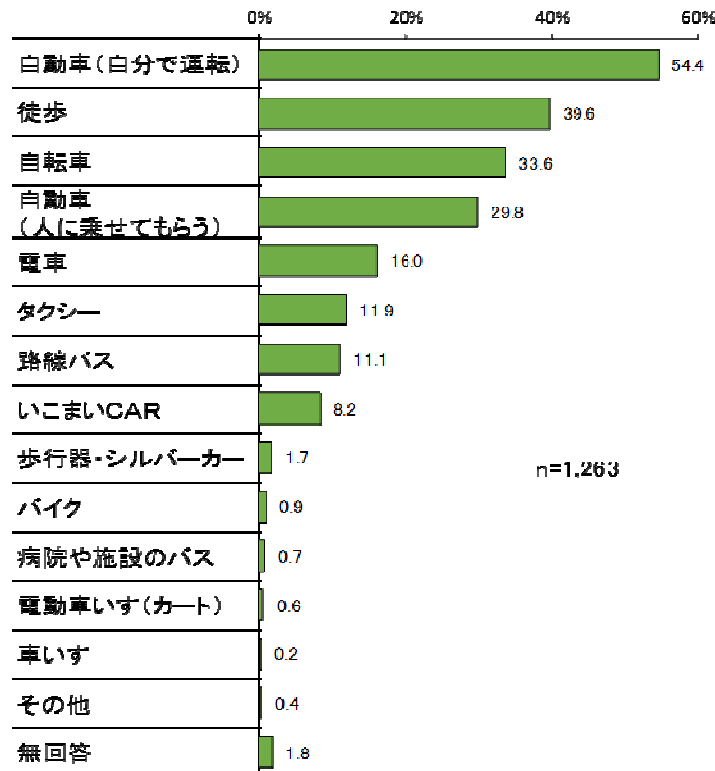
(9) 外出する際の移動手段は何ですか (○はいくつでも)

「自動車 (自分で運転)」が57.4%、次いで「徒歩」が53.8%、「自転車」が32.6%となっています。

R7



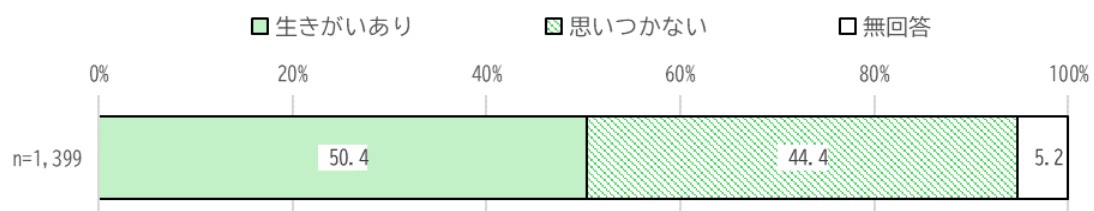
R4



問4 毎日の生活について

【新設】(12) 生きがいがありますか (○は1つ)

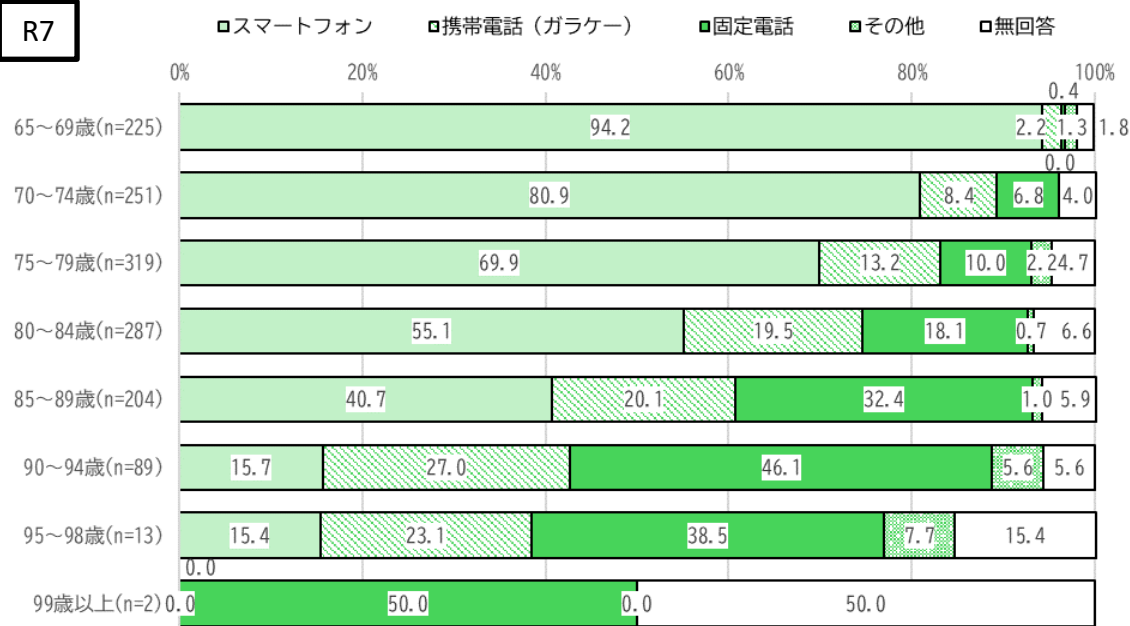
「生きがいあり」が50.4%、「思いつかない」が44.4%となっています。



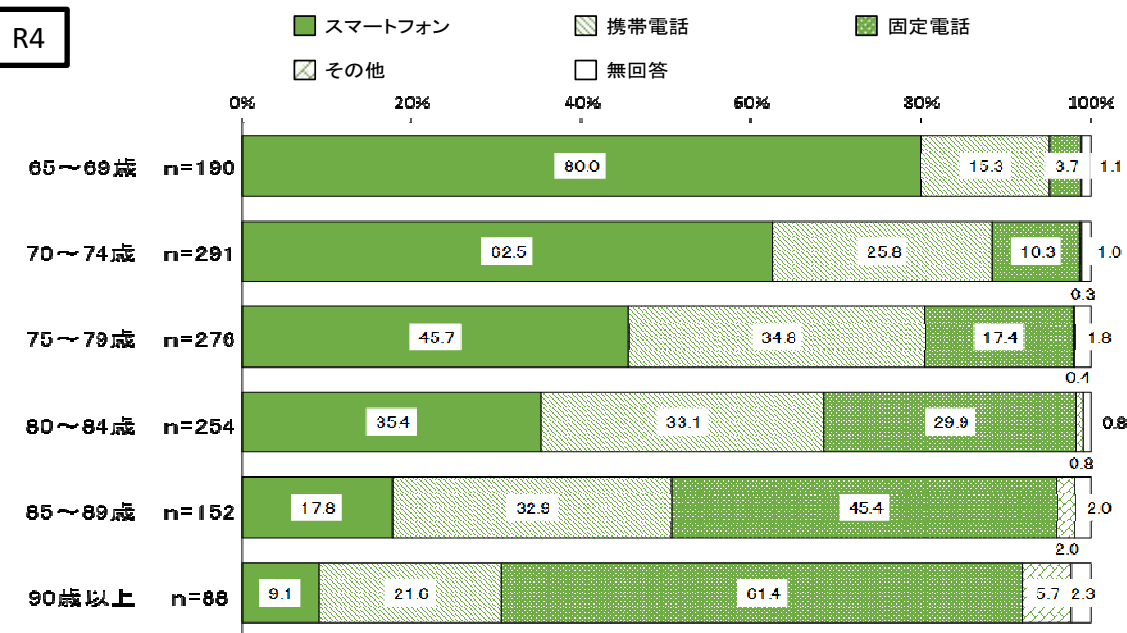
【独自】(13) 主に使用している通信・連絡機器はどれですか（○は1つ）

「スマートフォン」を使用している方が64.3%で、前回調査46.7%から大きく増加しています。年代別では、年代が上がるにつれ「スマートフォン」の割合が低く、「携帯電話（ガラケー）」と「固定電話」の割合が高くなっています。

R7

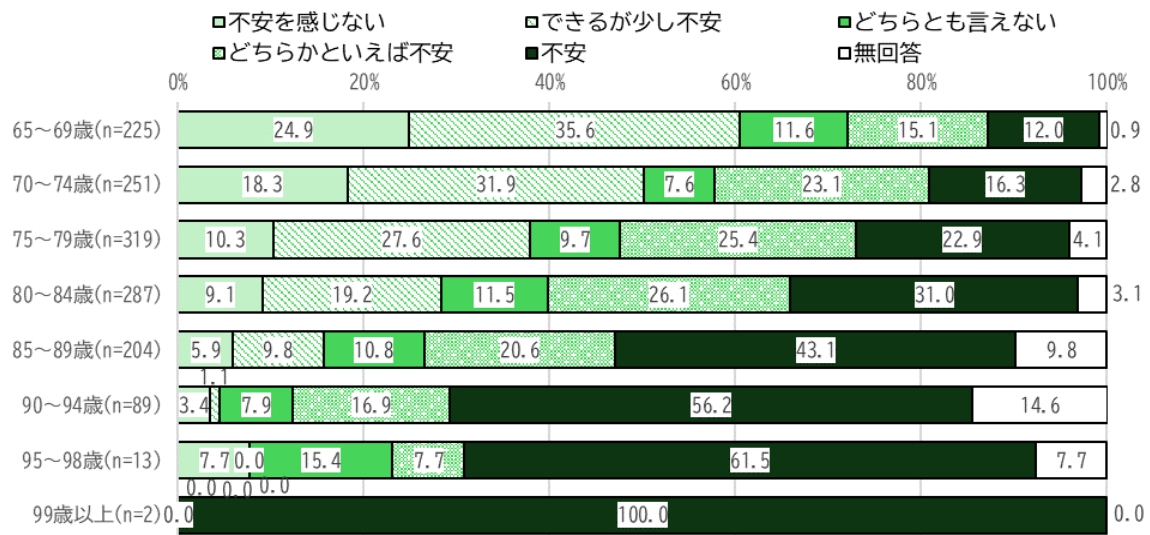


R4



【新規・独自】 (14) スマートフォンやパソコン、タブレットなどの通信・連絡機器を使って、各種申込や申請を行うことに不安を感じますか
(○は1つ)

「不安」「できるが少し不安」「どちらかといえば不安」を合わせると72.3%の方がスマートフォン等による各種申込などに『不安』を感じており、年代別では、年代が上がるにつれ『不安』の割合が高くなる傾向が見られます。

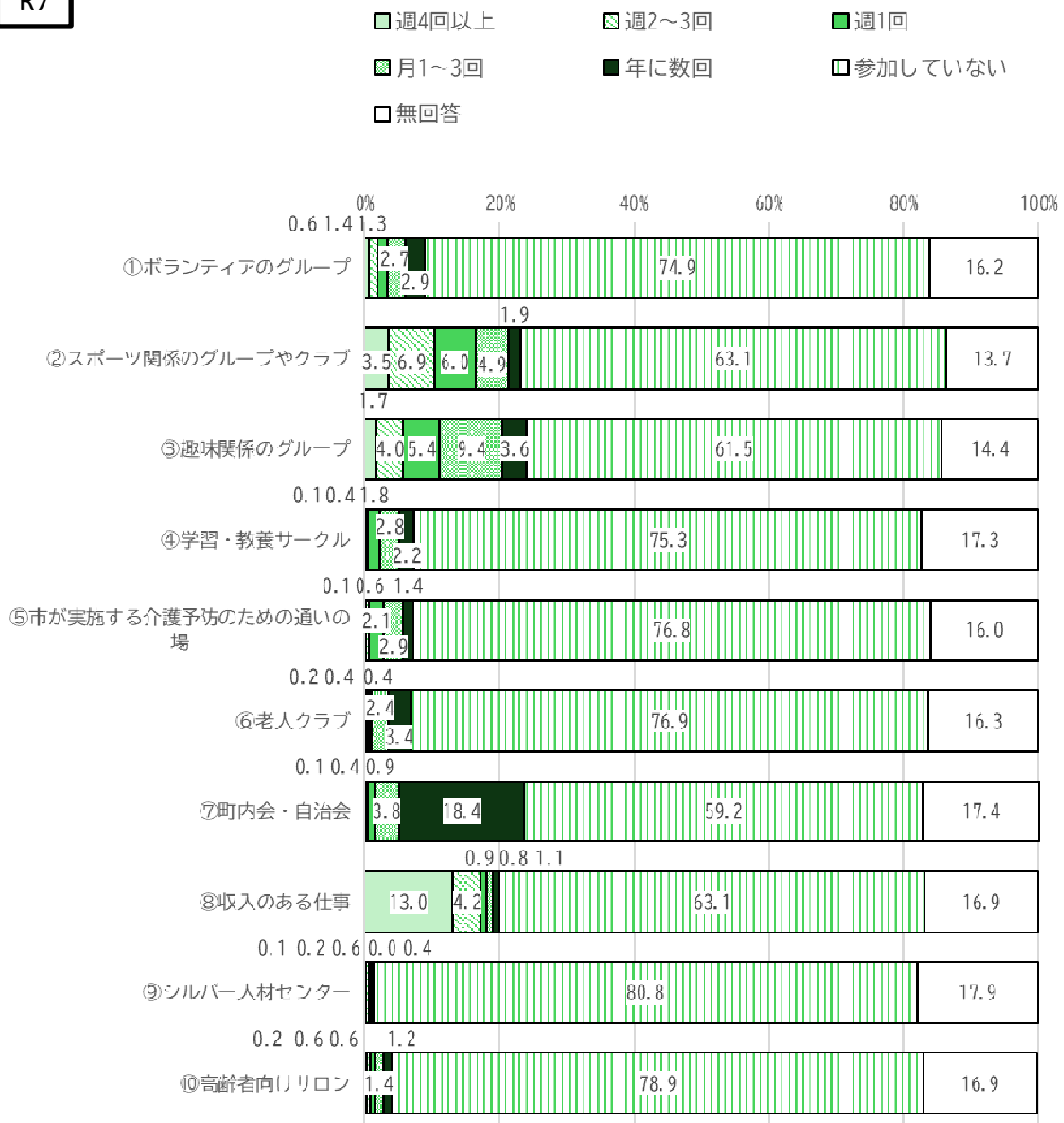


問5 地域での活動について

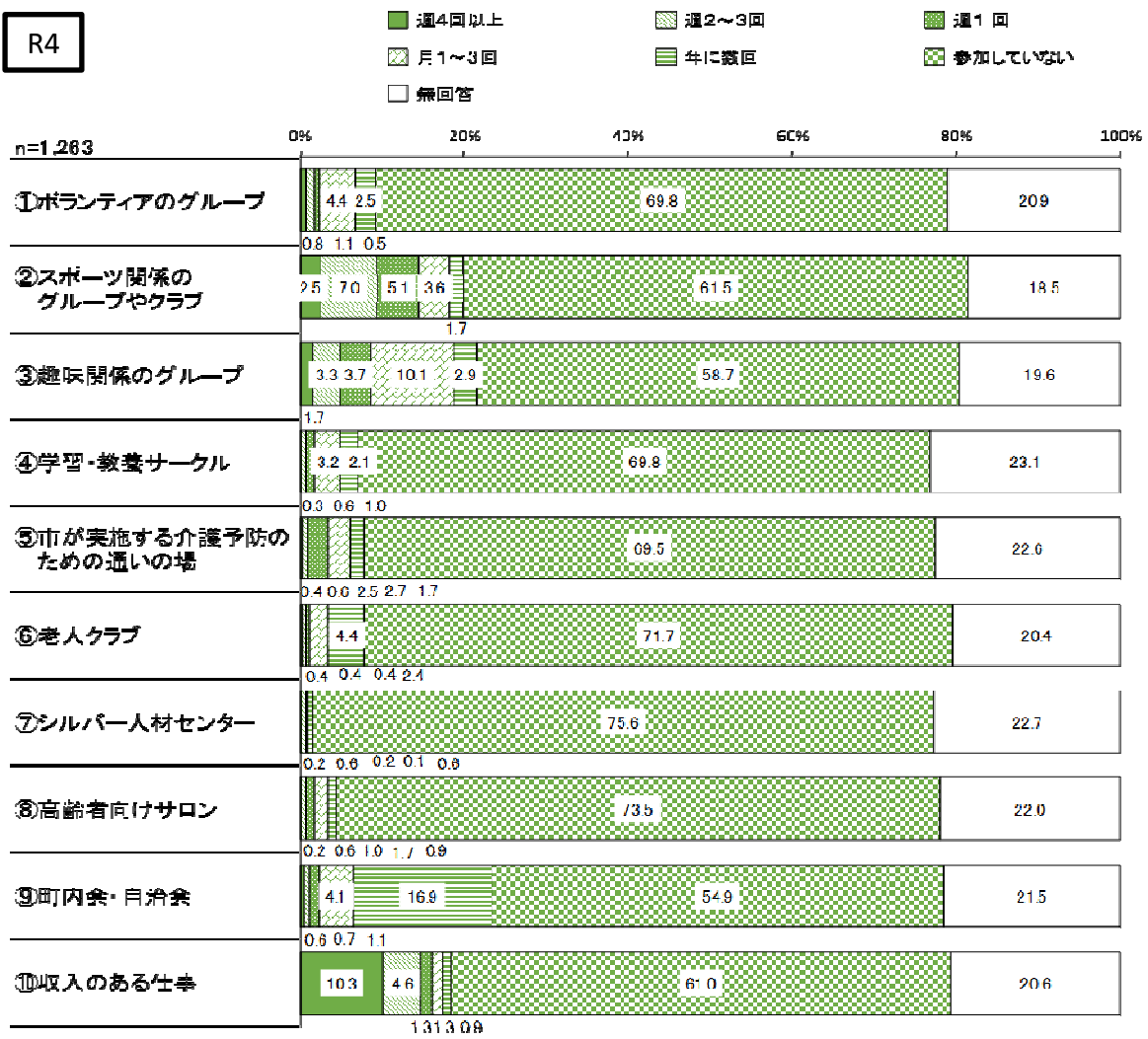
(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
(①～⑩それぞれに回答してください) (○はそれぞれに1つ)

「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」を合わせた『参加している』は、「②スポーツ関係のグループやクラブ」「③趣味関係のグループ」「⑦町内会・自治会」「⑧収入のある仕事」で割合が高くなっています。

R7



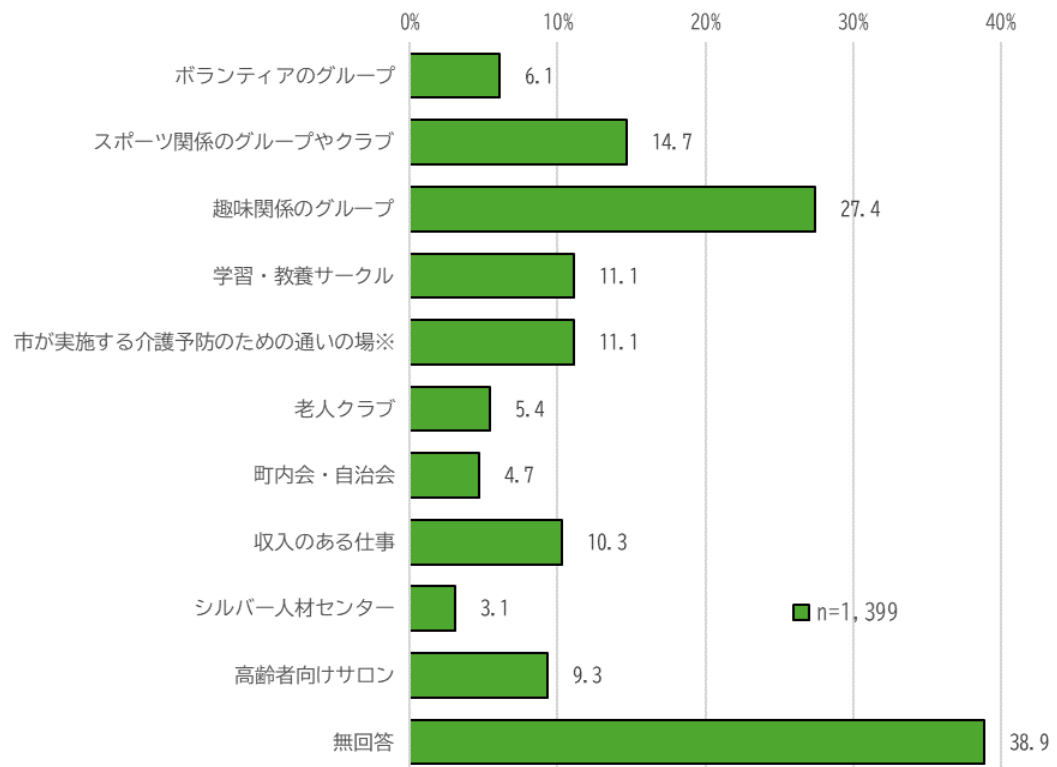
R4



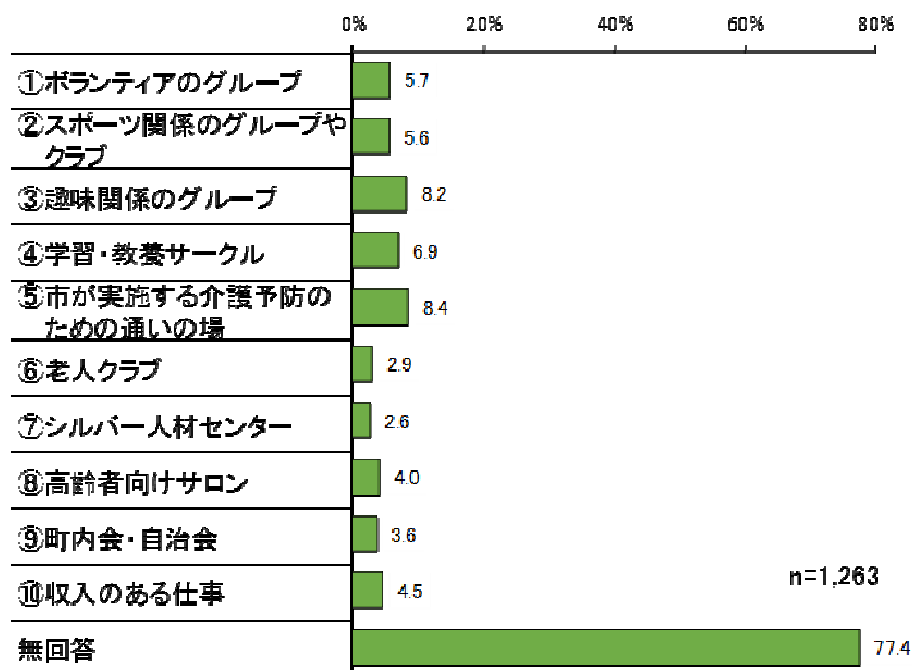
【独自】（２）以下のような会・グループ等で、今後参加してみたいものを教えてください（○はいくつでも）

今後の参加希望では、「③趣味関係のグループ」が27.4%、「②スポーツ関係のグループやクラブ」が14.7%、「④学習・教養サークル」と「⑤市が実施する介護予防のための通いの場」が11.1%、となっています。

R7



R4

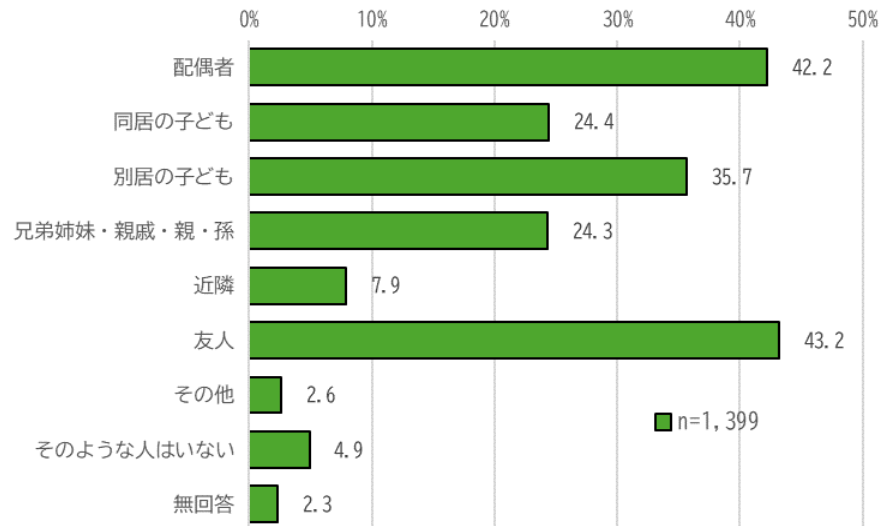


問6 たすけあいについて

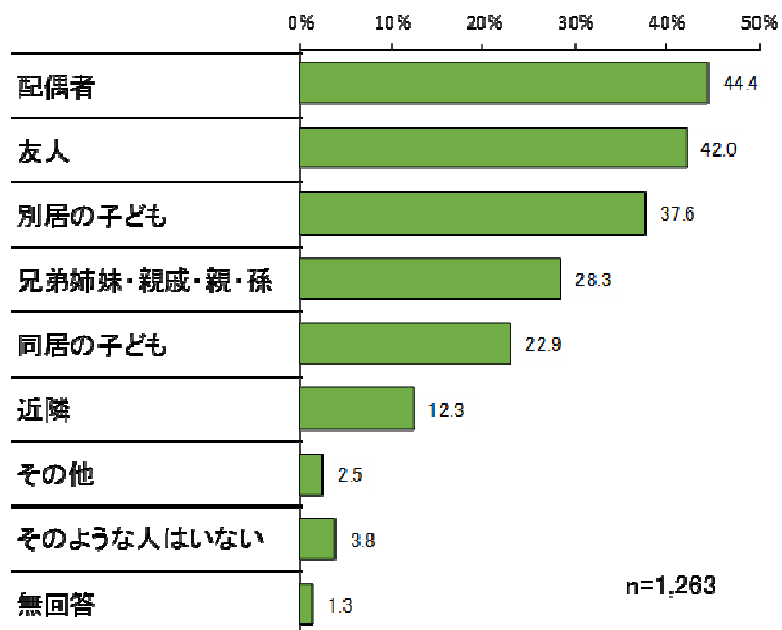
(1) 心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人 (〇はいくつでも)

「友人」が43.2%で最も高く、次いで「配偶者」が42.2%、「別居の子ども」が35.7%となっています。

R7



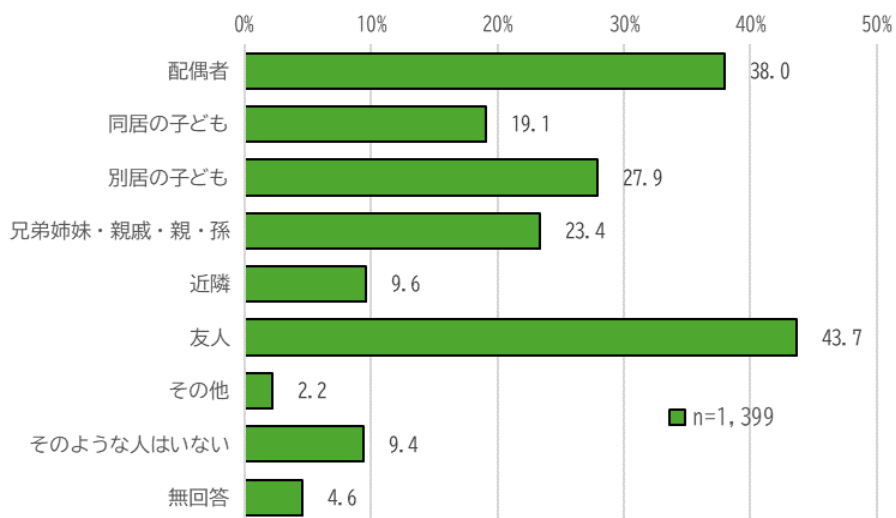
R4



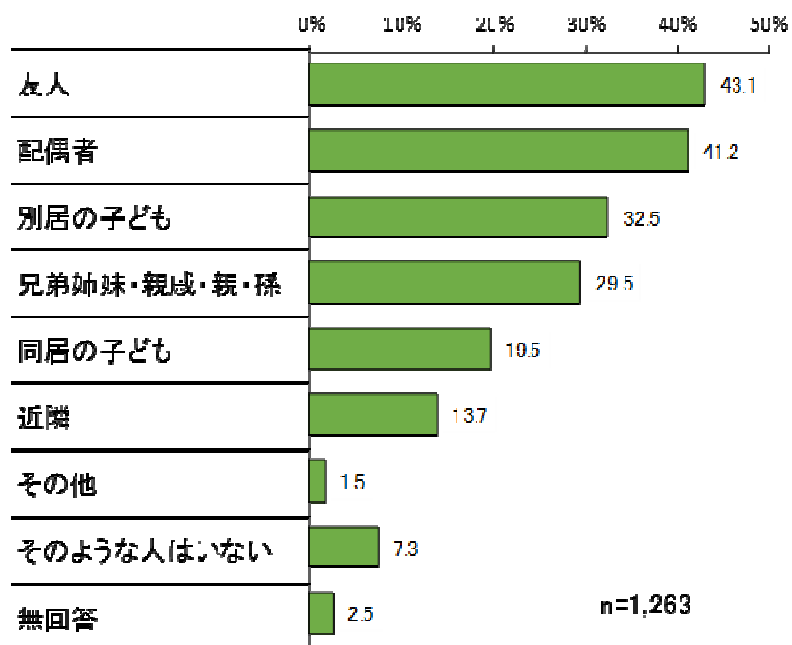
(2) 反対に、心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人 (〇はいくつでも)

「友人」が43.7%で最も高く、次いで「配偶者」が38.0%、「別居の子ども」が27.9%となっています。

R7



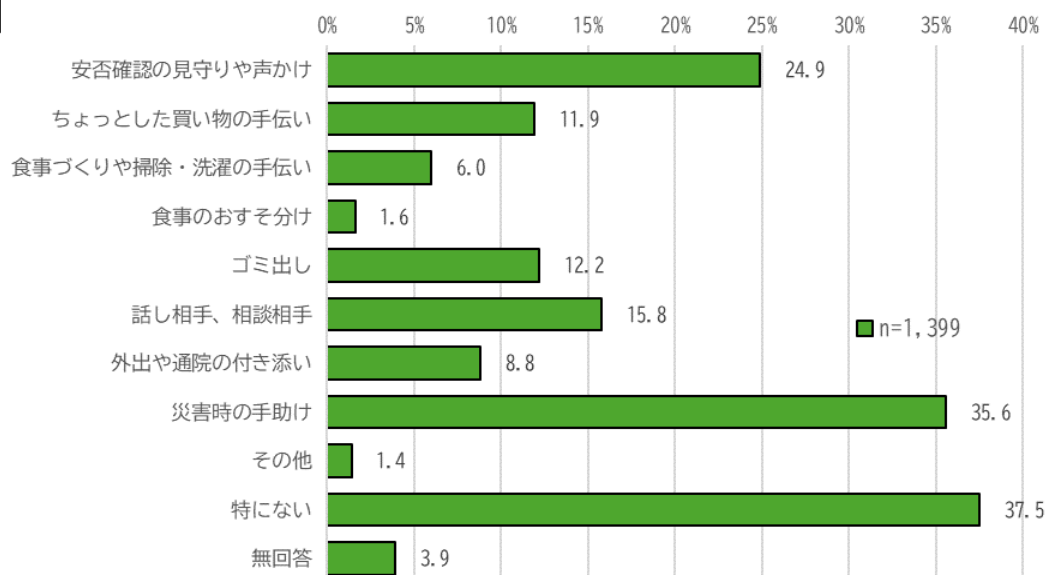
R4



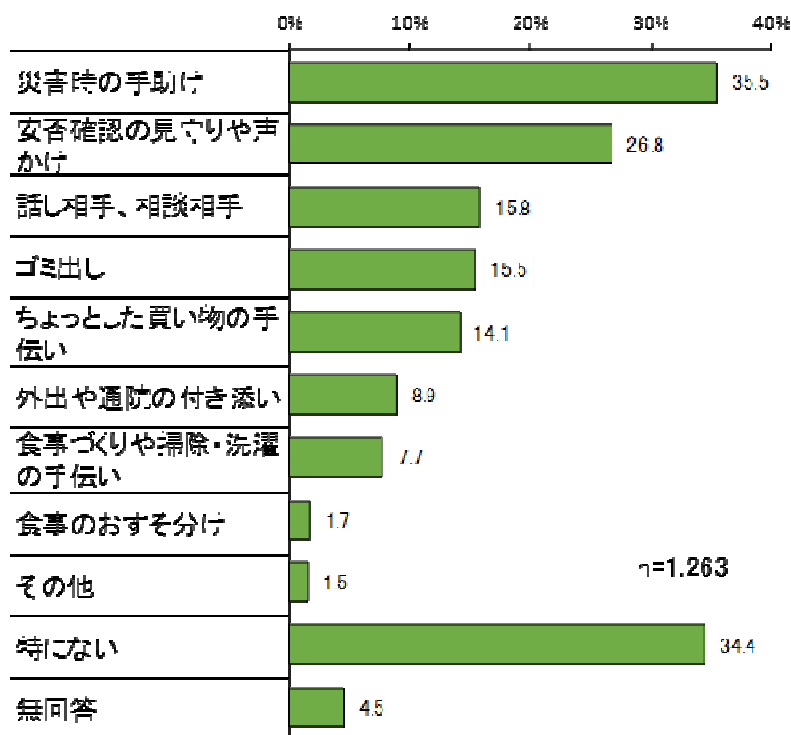
【独自】（７）お困りのとき（今後、お困りになったとき）、地域の方に手助けをしてほしいことは何ですか（〇はいくつでも）

「災害時の手助け」が35.6%、「安否確認の見守りや声かけ」が24.9%、「話し相手、相談相手」が15.8%となっており、ほぼ前回調査と同じ結果となりました。一方、「特にない」は37.5%で最も高くなっています。

R7



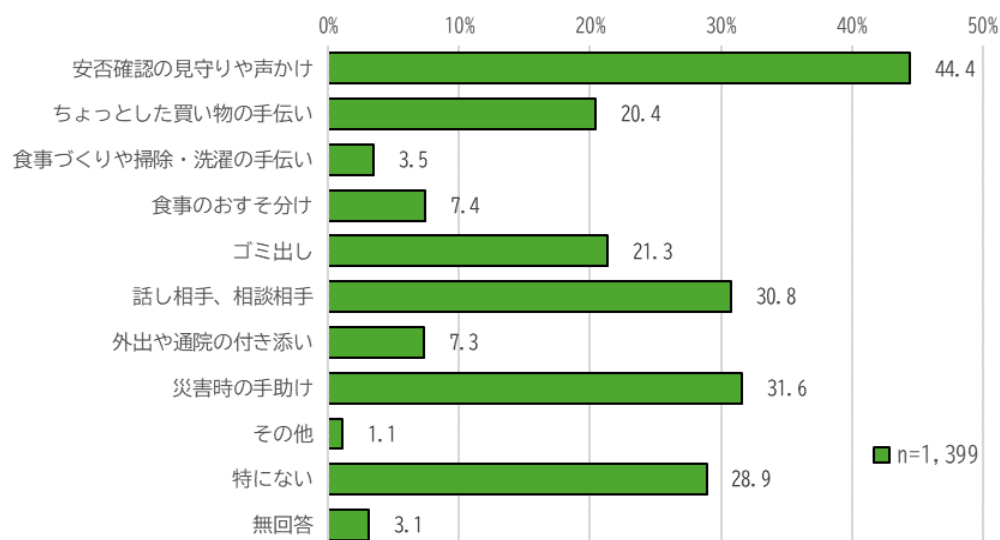
R4



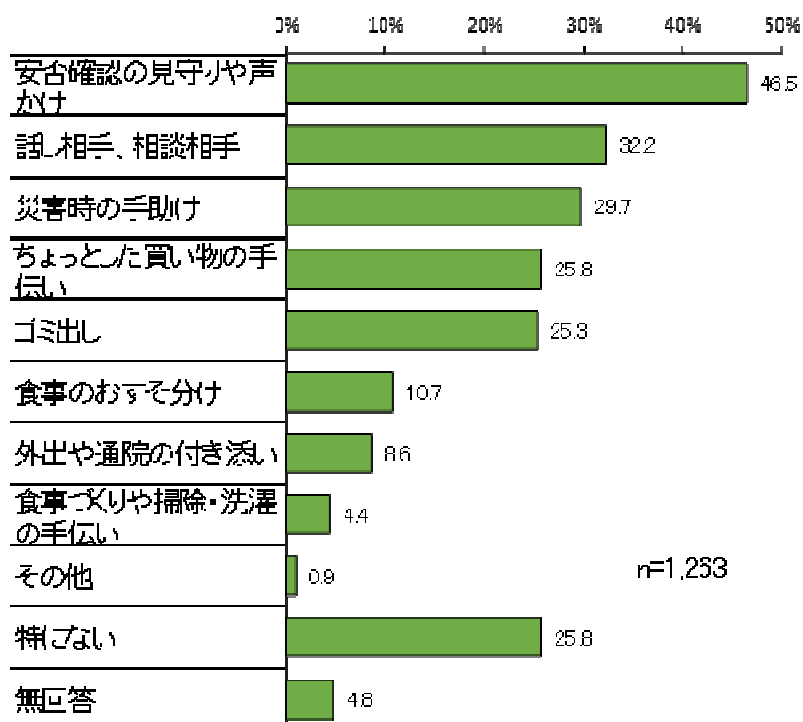
【独自】（８）近所の方がお困りのとき、支援できることは何ですか
（〇はいくつでも）

「安否確認の見守りや声かけ」が44.4%で最も高く、次いで「災害時の手助け」が31.6%、「話し相手、相談相手」が30.8%となっており、前回調査とほぼ同じ結果となりました。

R7



R4

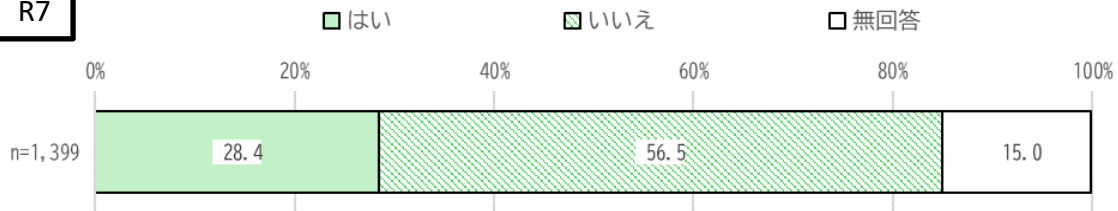


問 8 認知症にかかる相談窓口の把握について

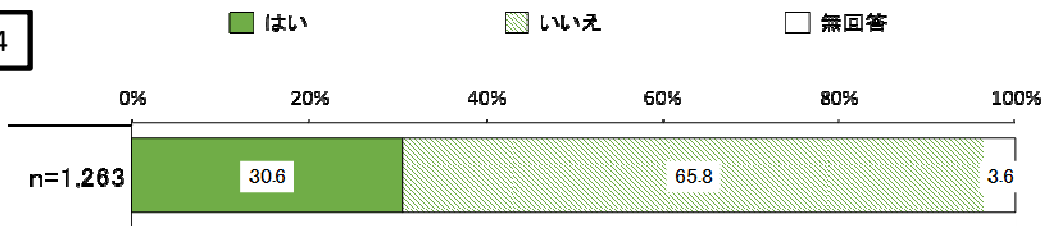
(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (○は1つ)

前回調査と比べ「はい」が30.6%から28.4%、「いいえ」が65.8%から56.5%となっています。

R7



R4

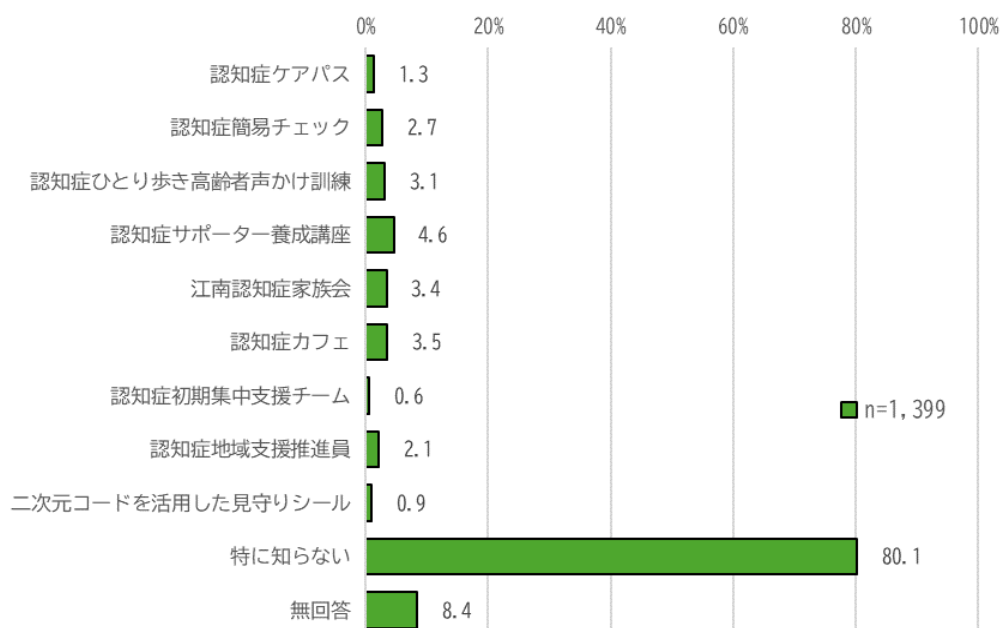


【独自】(3) 江南市で、以下の認知症に対する取組を行っていることを知っていますか (○はいくつでも)

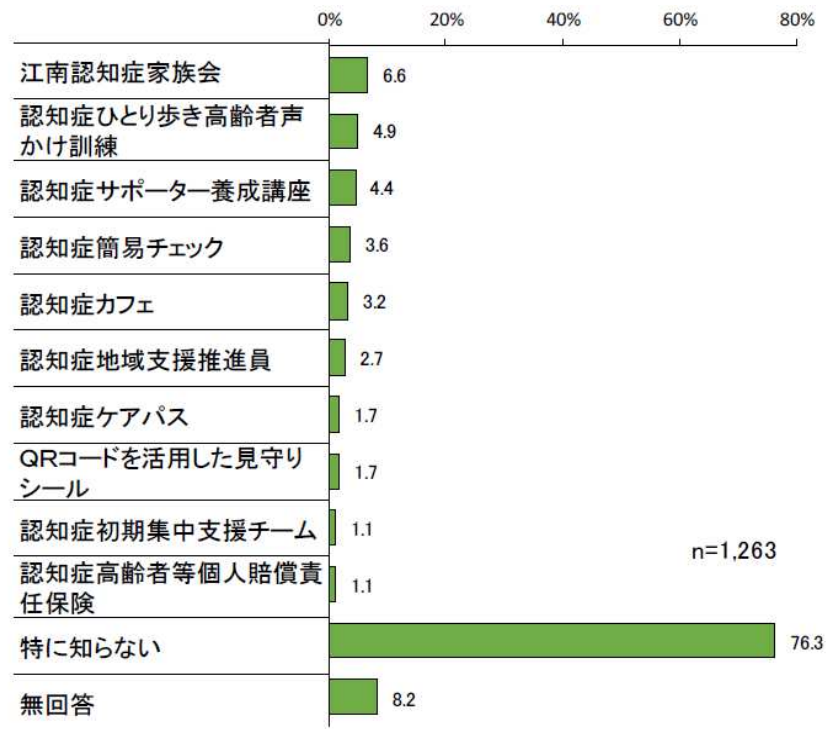
前回調査と比べ「認知症サポーター養成講座」が4.4%から4.6%、「認知症カフェ」が3.2%から3.5%、「江南認知症家族会」が6.6%が3.4%となっています。

また「特に知らない」は80.1%で最も高くなっています。

R7



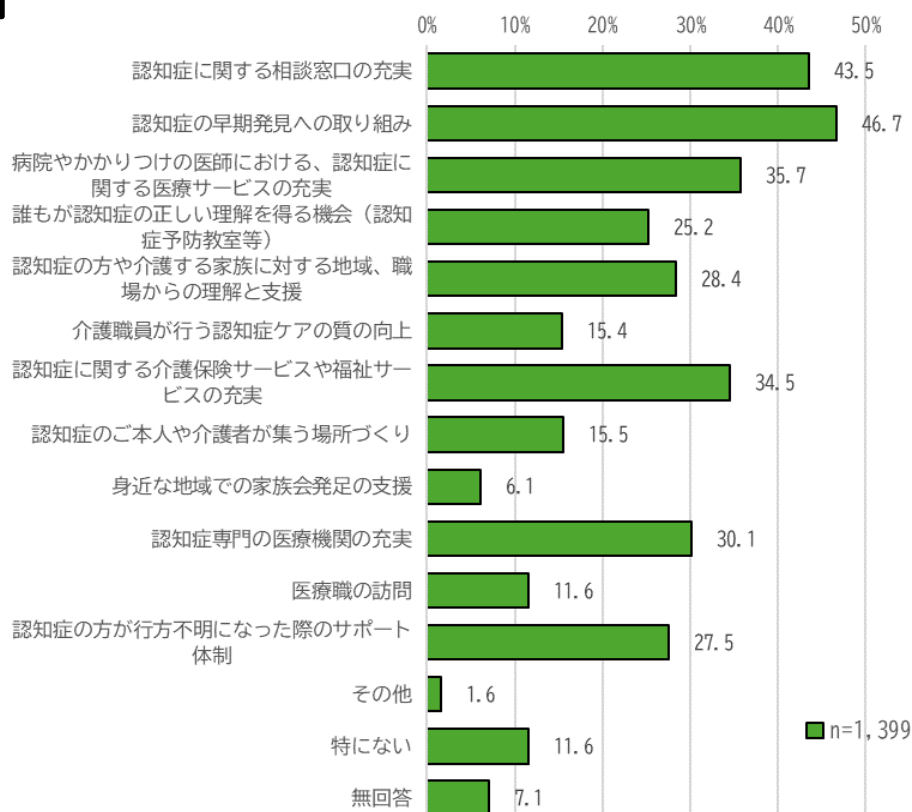
R4



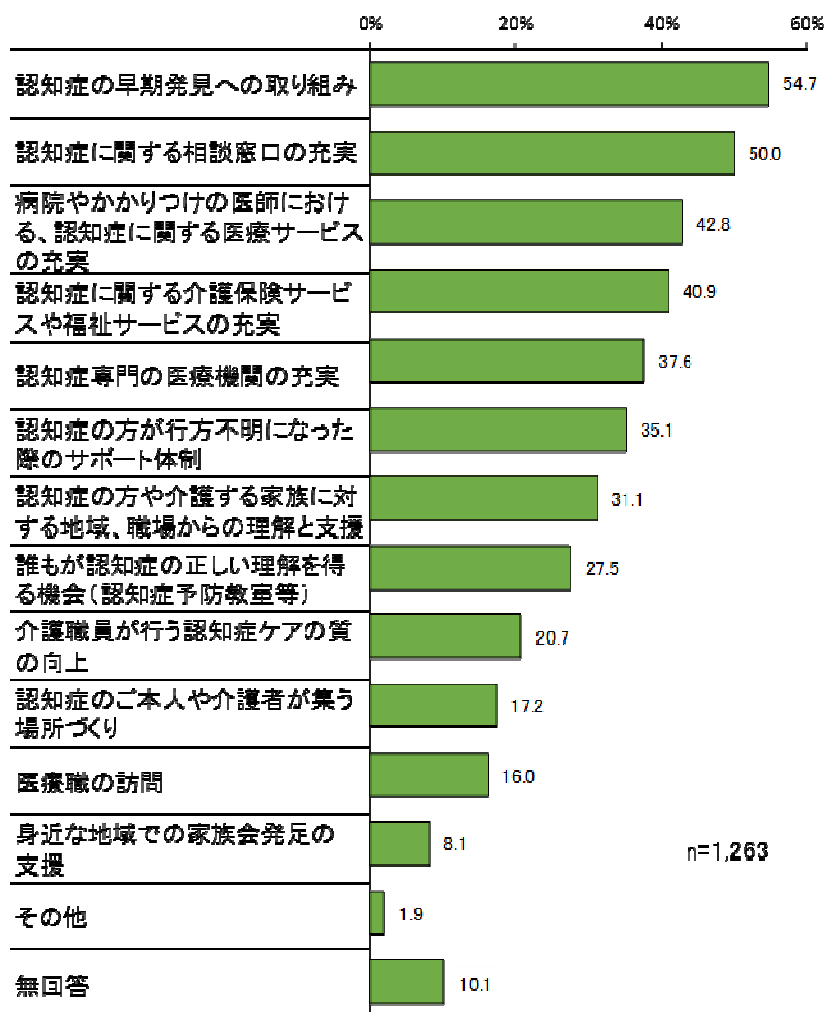
【独自】（４）認知症の方の支援に必要なことは何だと思いますか
（〇はいくつでも）

「認知症の早期発見への取り組み」が46.7%で最も高く、次いで「認知症に関する相談窓口の充実」が43.5%、「病院やかかりつけの医師における、認知症に関する医療サービスの充実」が35.7%となっています。

R7



R4



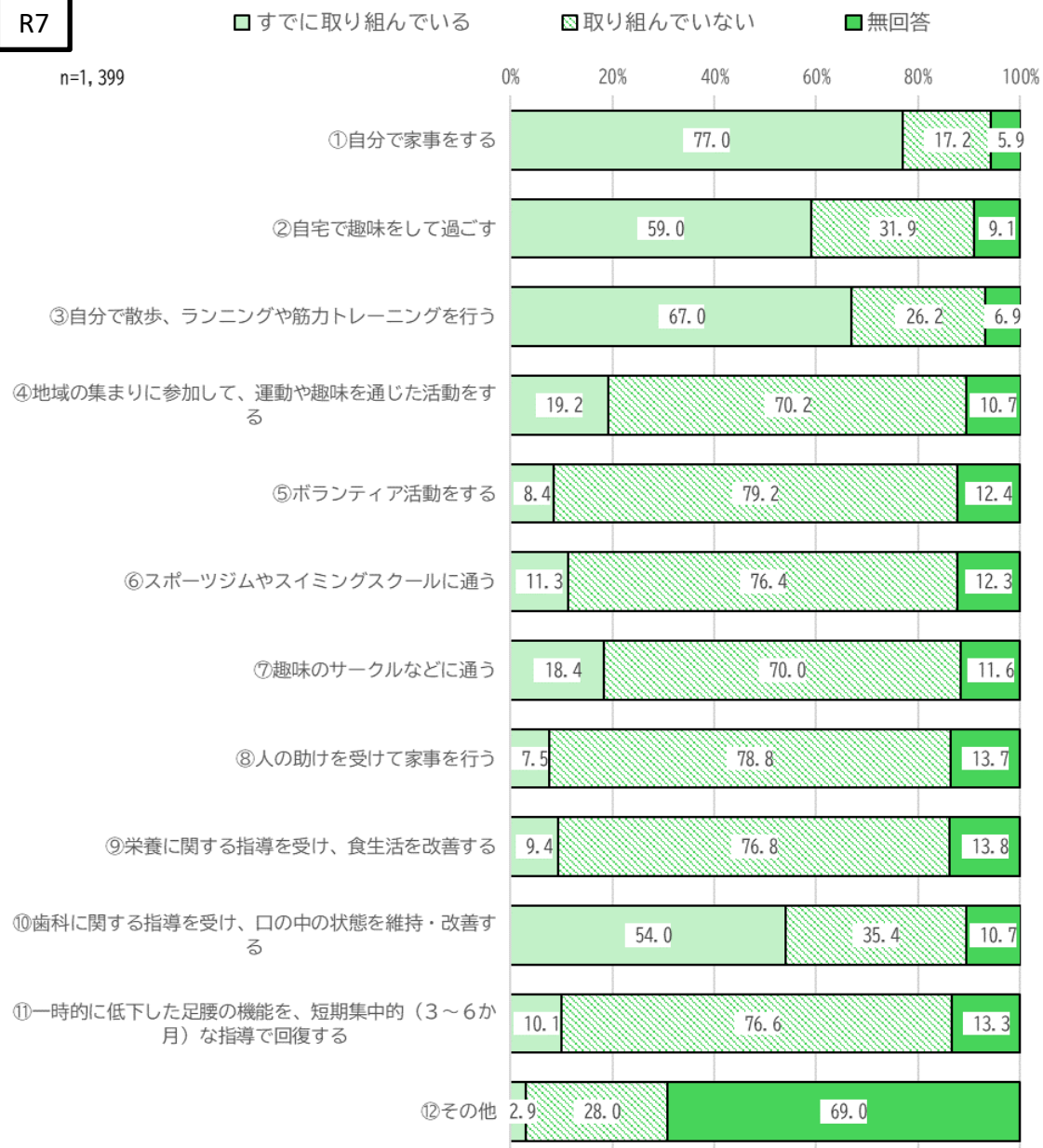
問 9 介護予防・福祉サービスについて

【独自】（１）介護が必要とならないために、どのような予防に取り組んでいますか（①～⑫それぞれに回答してください）（○はそれぞれに１つ）

前回調査と比べ「①自分で家事をする」は、「すでに取り組んでいる」が74.6%から77.0%と割合が高くなっています。

また「③自分で散歩、ランニングや筋力トレーニングを行う」は、「すでに取り組んでいる」が58.0%から67.0%と約10%増加しています。

R7

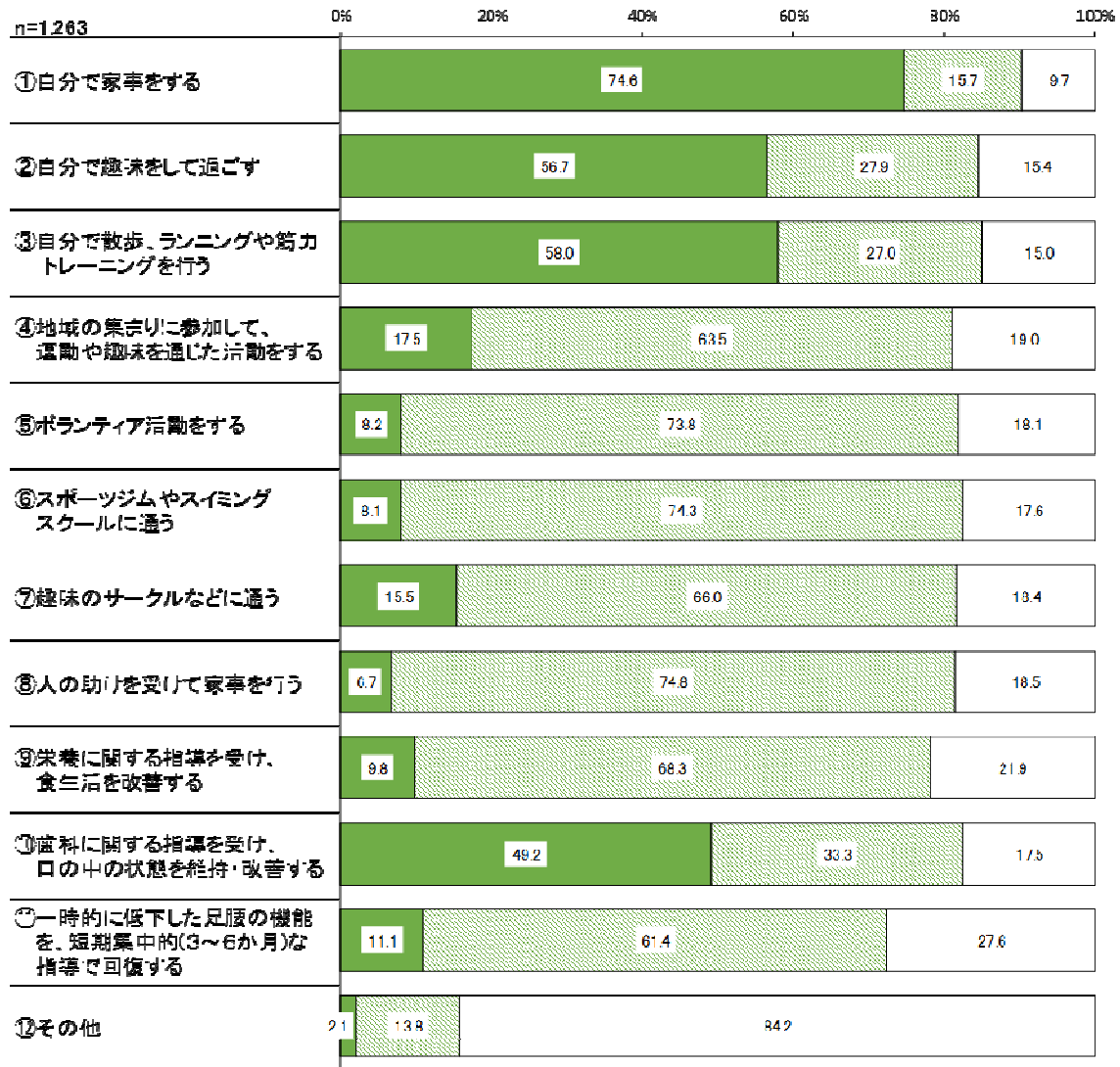


R4

■ すでに取り組んでいる

■ 取り組んでいない

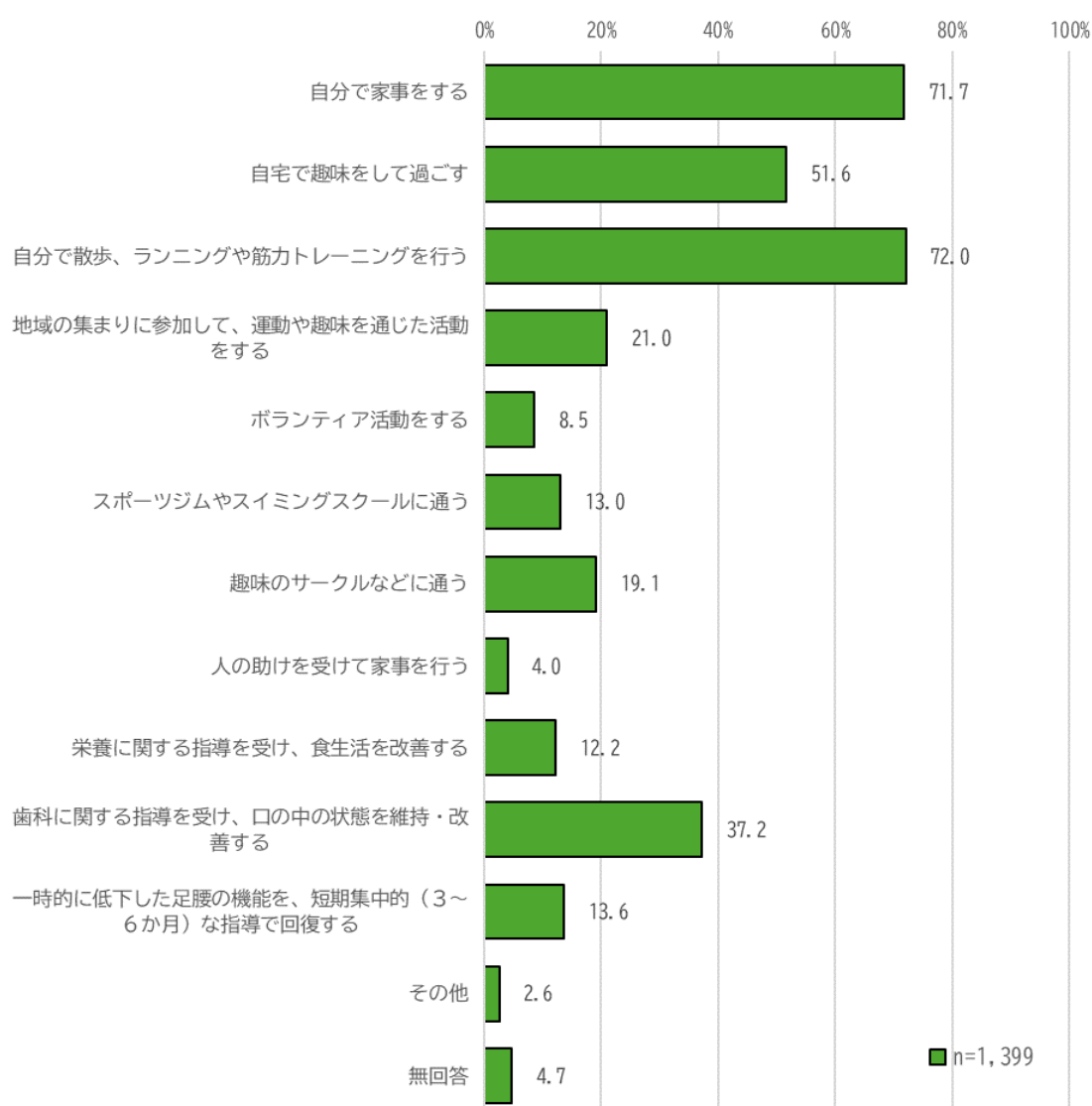
□ 無回答



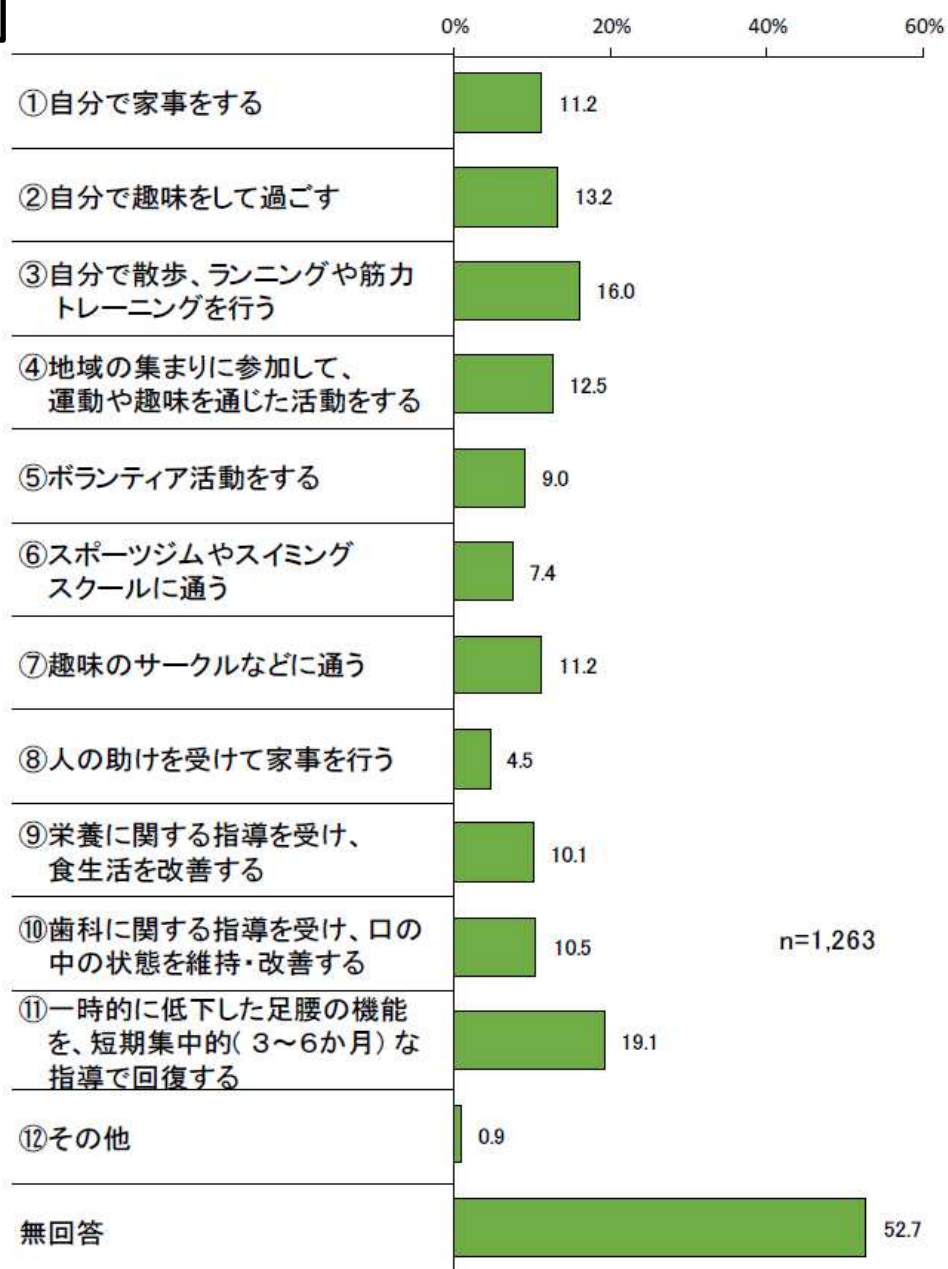
【独自】（２）介護が必要とならないために、今後どのような予防に取り組みたいですか（〇はいくつでも）

前回調査と比べ「⑪一時的に低下した足腰の機能を、短期集中的（３～６か月）な指導で回復する」が19.1%から13.6%と減少した項目がある一方、「③自分で散歩、ランニングや筋力トレーニングを行う」が16.0%から72.0%、「①自分で家事をする」が11.2%から71.7%、「②自分で趣味をして過ごす」が13.2%から51.6%、「⑩歯科に関する指導を受け、口の中の状態を維持・改善する」が10.5%から37.2%となっており、全体的に、介護予防に取り組みたい意識が大幅に増加となっています。

R7



R4



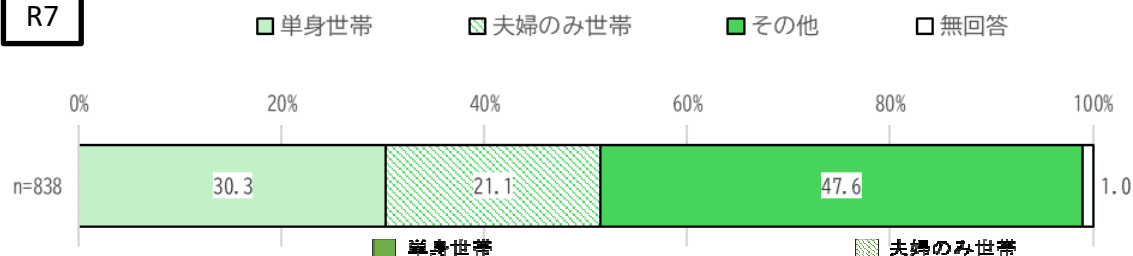
(2) 在宅介護実態調査

①A票 調査対象者ご本人様がお答えください

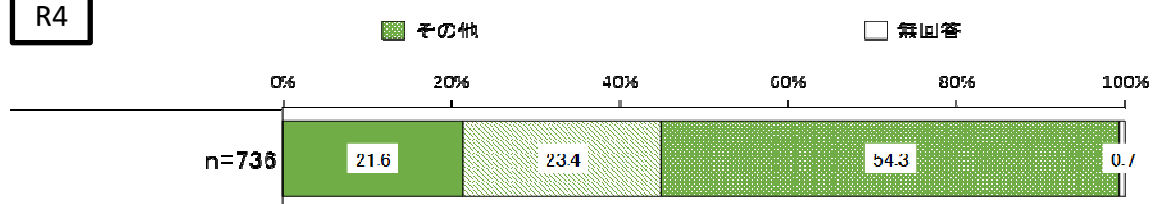
問1 世帯類型について、ご回答ください（○は1つ）

前回調査に比べると、「夫婦のみ世帯」（△2.3%）の割合が減少し、「単身世帯」（+8.7%）の割合が増加しています。

R7



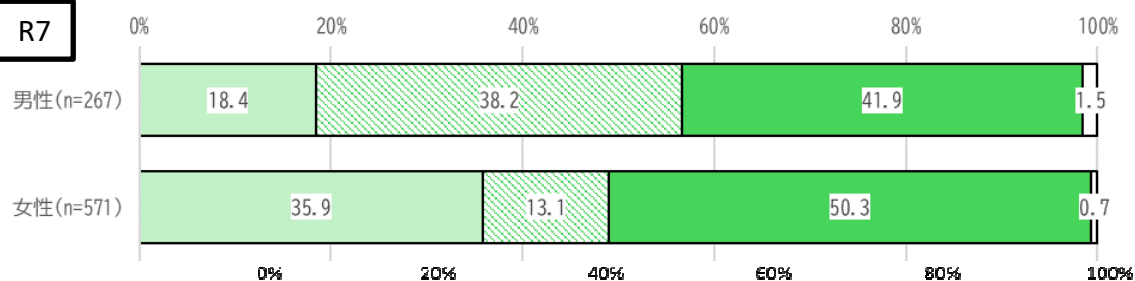
R4



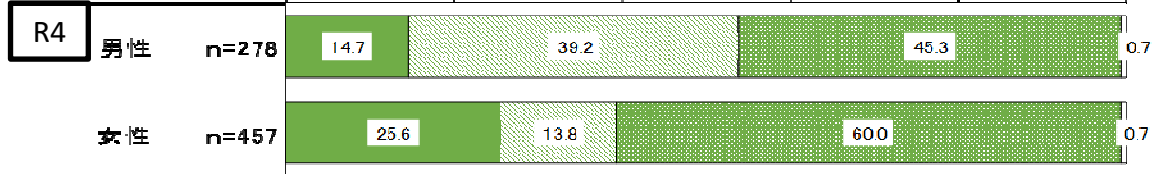
【性別】

前回調査に比べると、男性、女性ともに「単身世帯」の割合が高くなっています。

R7



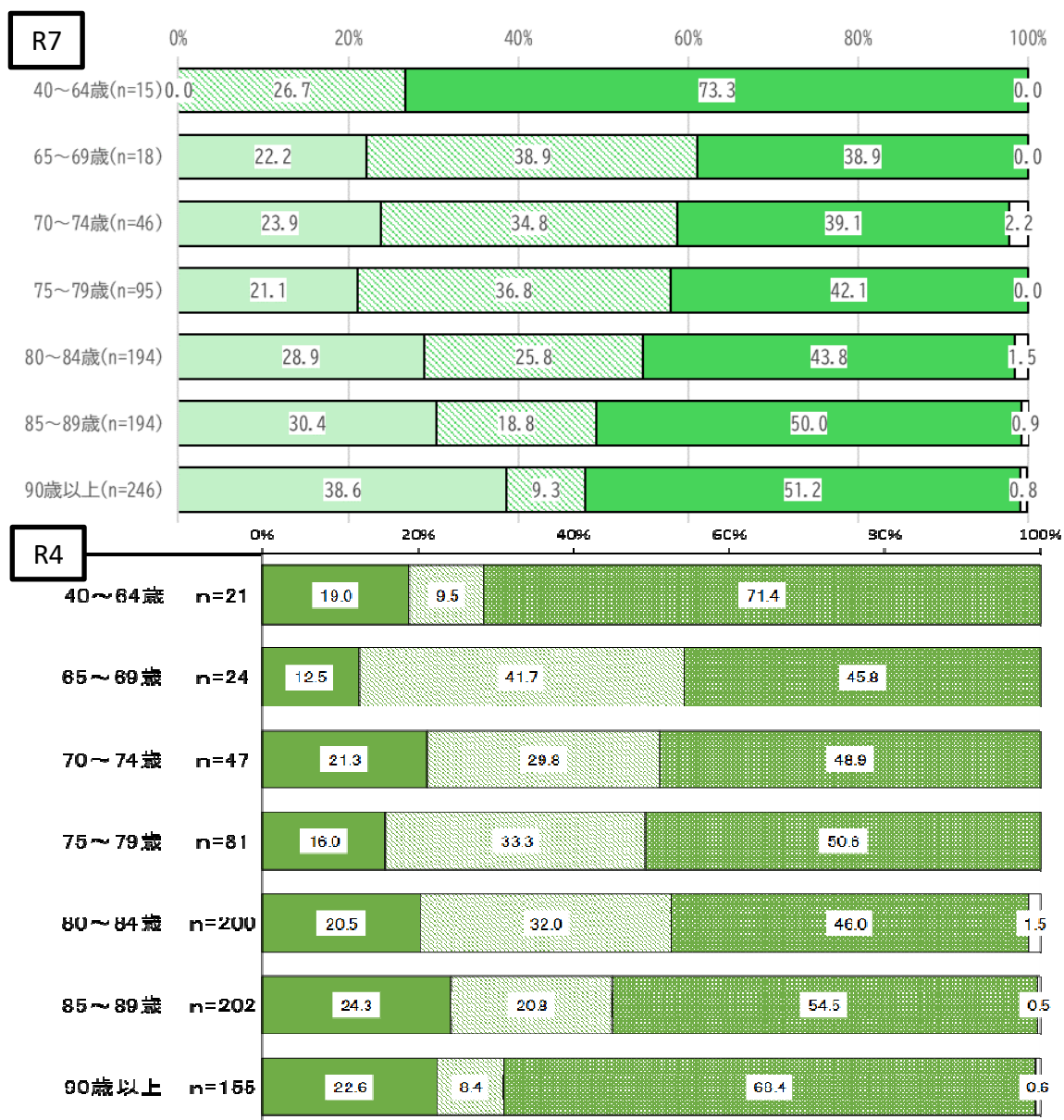
R4



【年代別】

年代が上がるにつれて、「単身世帯」の割合が高くなり、「夫婦のみ世帯」の割合が低くなる傾向があります。

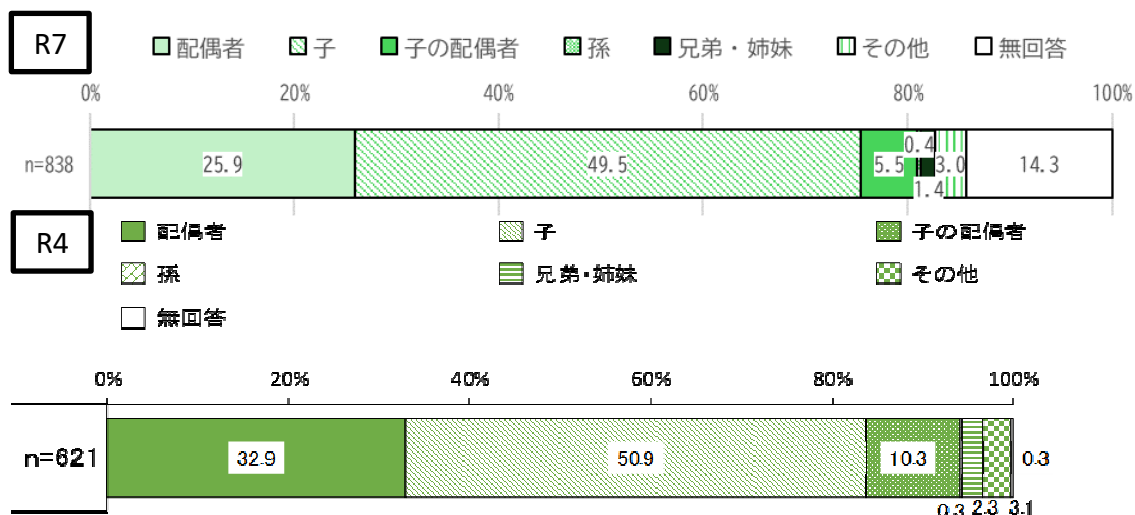
前回調査に比べると、全年代で「単身世帯」の割合が高くなっています。



問3 主な介護者の方は、どなたですか（○は1つ）

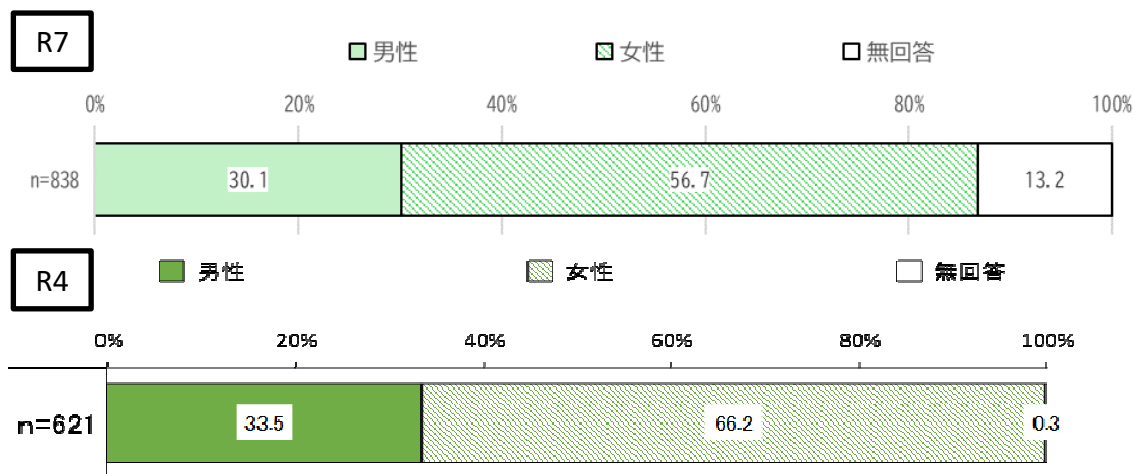
「子」が49.5%で最も高く、次いで「配偶者」が25.9%、「子の配偶者」が5.5%となっています。

前回調査に比べると、主に「配偶者」（△7.0%）と「子の配偶者」（△4.8%）の割合が減少しています。



問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（○は1つ）

前回調査に比べると、「男性」（△3.4%）、「女性」の割合（△9.5%）がともに減少しています。



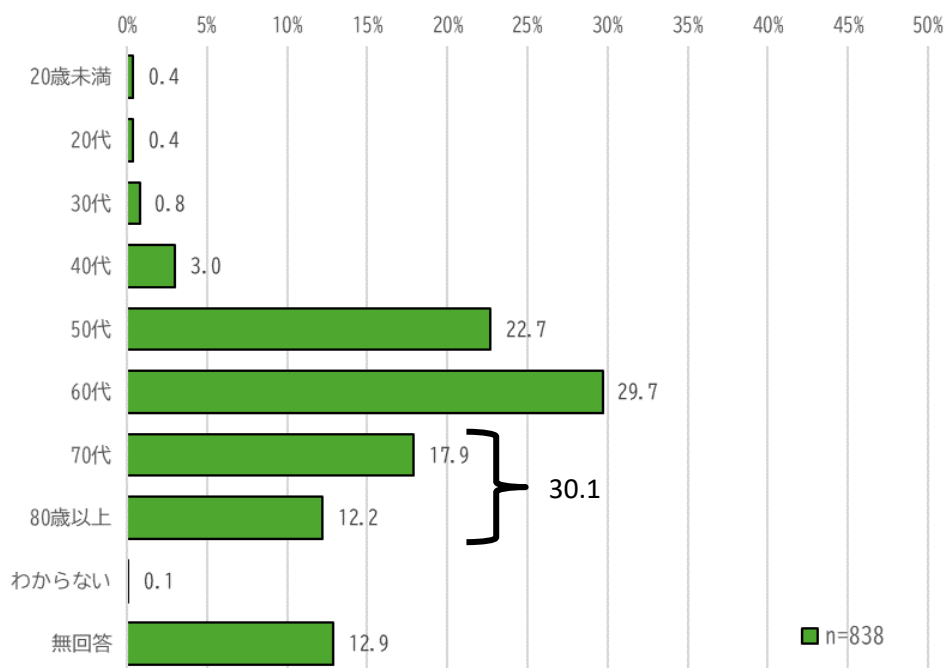
問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（○は1つ）

「60代」が29.7%で最も高く、次いで「50代」が22.7%、「70代」が17.9%となっています。

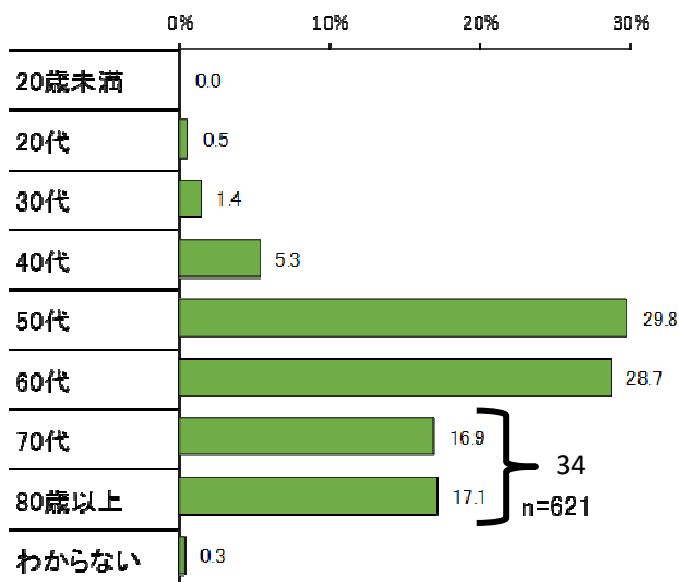
いわゆる「老々介護」の状態にある、主な介護者が70代以上の割合は30.1%で、前回調査同様の3割以上の結果となっています。

前回調査に比べると、主に「50代」（△7.1%）、「80代」（△4.9%）の割合が減少しています。

R7



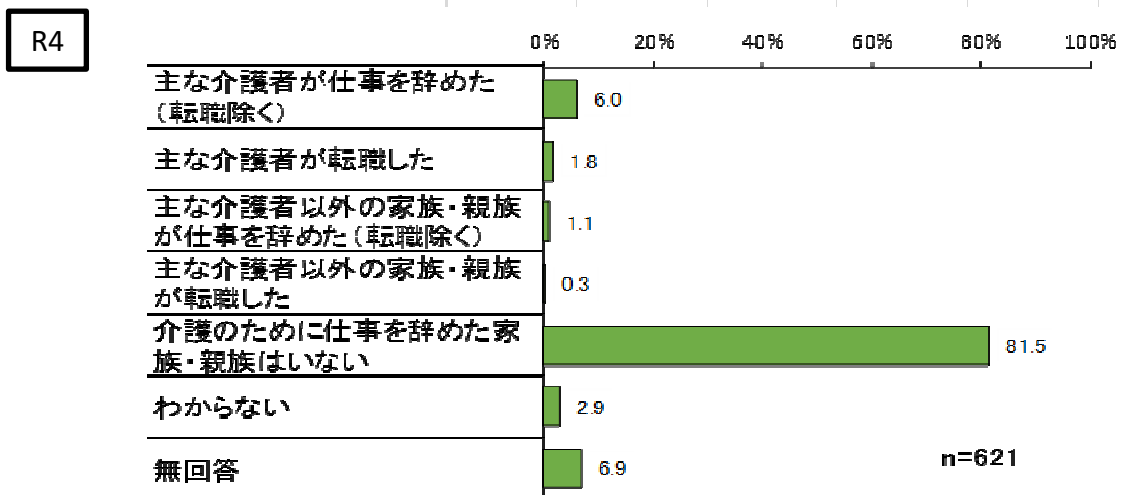
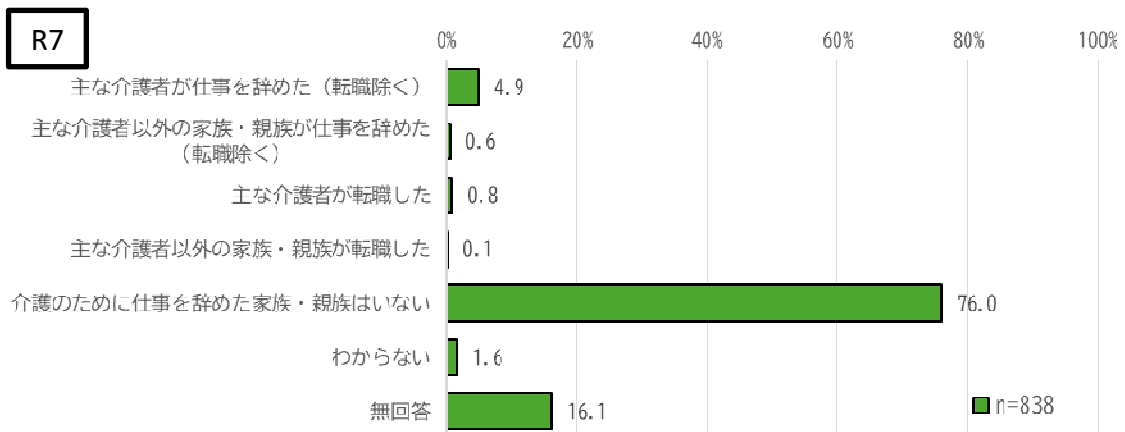
R4



問7 ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（〇はいくつでも）

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」は76.0%で最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が4.9%、「わからない」が1.6%となっています。

前回調査に比べると、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」（△5.5%）の割合が減少しました。



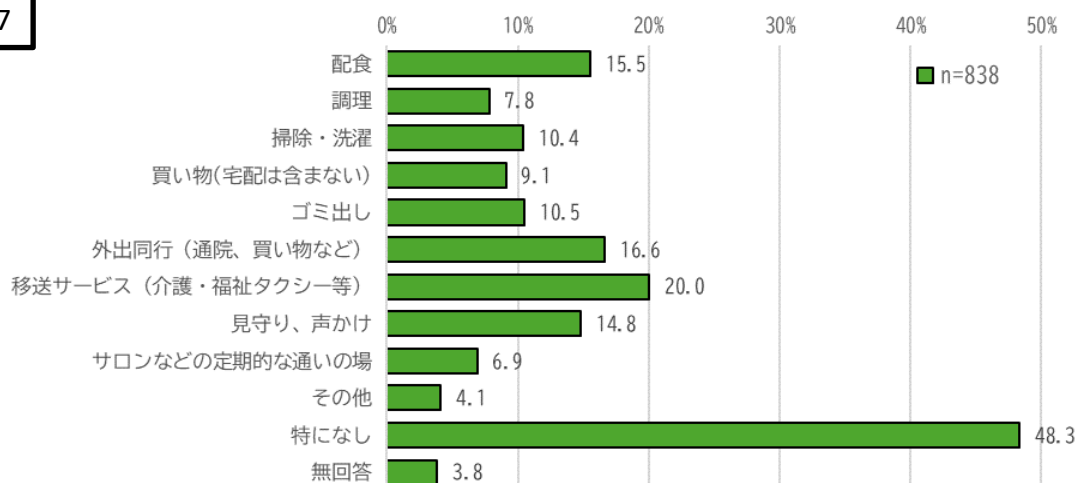
問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（〇はいくつでも）

「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が20.0%、「外出同行（通院、買い物など）」が16.6%、「配食」が15.5%となっています。

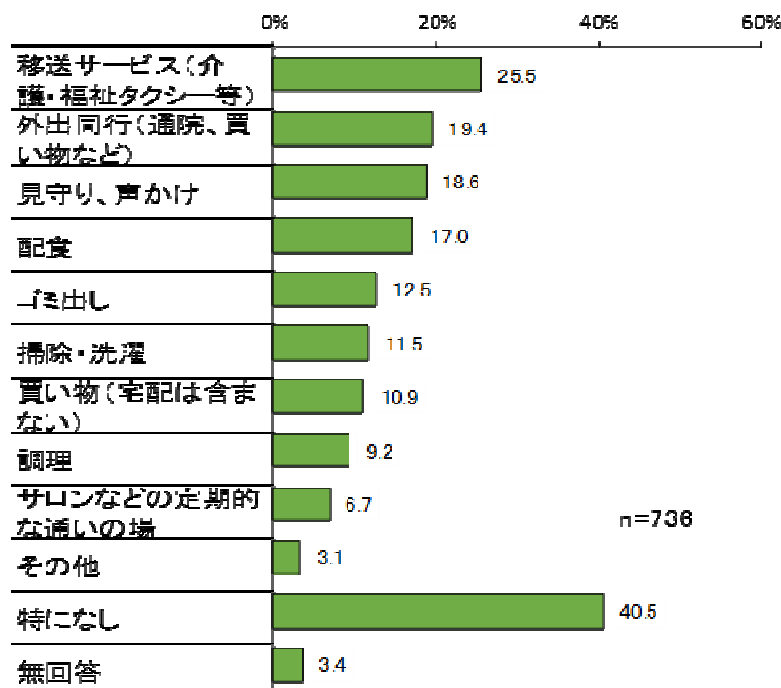
一方で「特になし」（48.3%）の割合が最も高くなっています。

前回調査に比べると、主に「配食」（△10.0%）、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（△5.5%）、「見守り、声かけ」（△3.8%）の割合が減少しています。

R7



R4



【性別・年代別】

性別では、男性と女性で「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が最も高くなっています。

年代別では、他の年代と比べ、85～89歳で「見守り、声かけ」（21.0％）の割合が高くなっています。

単位：％

R7	全体 (件数)	配食	調理	掃除・洗濯	買い物 (宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行 (通院、買い物など)	移送サービス (介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答
男性	207	15.7	6.7	10.5	6.6	9.7	16.5	23.2	12.7	5.2	3.4	46.1	4.9
女性	571	15.4	8.2	10.3	9.3	10.9	16.6	18.6	15.8	7.7	4.4	40.4	3.3
40～64歳	15	13.3	6.7	13.3	6.7	6.7	26.7	33.3	6.7	0.0	6.7	43.7	0.0
65～69歳	18	5.6	0.0	5.6	5.6	5.6	11.1	16.7	0.0	0.0	5.6	63.7	0.0
70～74歳	46	13.0	8.7	10.9	10.9	13.0	26.1	34.8	15.2	2.2	2.2	43.5	2.2
75～79歳	95	14.7	7.4	9.5	8.4	9.5	22.1	26.3	11.6	7.4	4.2	48.4	3.2
80～84歳	194	20.1	8.8	10.8	10.8	10.8	20.1	22.2	12.4	7.2	4.7	49.0	3.6
85～89歳	224	16.3	10.7	12.9	10.7	13.8	14.7	17.0	21.0	6.0	4.0	42.4	4.5
90歳以上	246	17.0	4.9	9.1	6.5	7.7	11.4	15.4	13.8	7.3	4.1	52.9	4.5

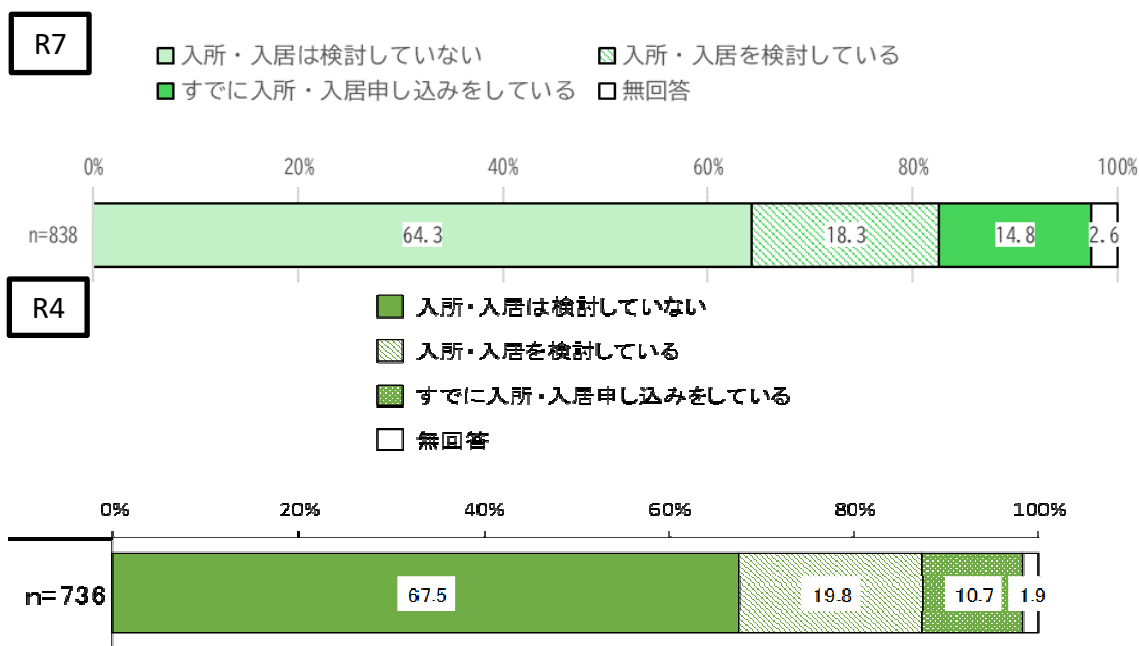
単位：％

R4	全体 (件)	配食	調理	掃除・洗濯	買い物 (宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行 (通院、買い物など)	移送サービス (介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答
区分													
性別													
男性	276	14.7	9.6	11.9	12.3	13.3	24.3	30.7	14.7	6.1	3.6	36.1	3.6
女性	427	18.4	9.6	11.4	9.8	12.0	16.4	21.2	21.0	7.0	2.8	42.0	3.1
年代別													
40～64歳	21	23.6	4.6	19.0	4.6	9.6	14.3	14.3	9.6	4.6	9.6	38.1	0.0
65～69歳	24	6.3	4.2	0.0	4.2	0.0	12.5	37.5	0.0	4.2	0.0	54.2	6.3
70～74歳	47	25.5	17.0	17.0	21.3	14.9	17.0	31.9	10.6	4.3	4.3	38.3	0.0
75～79歳	81	11.1	9.9	12.3	11.1	14.8	30.9	32.1	19.8	2.5	4.9	39.5	4.9
80～84歳	200	14.5	7.5	6.5	7.5	12.5	19.0	21.5	20.0	6.5	3.0	41.0	4.5
85～89歳	202	21.3	8.9	13.4	14.4	16.3	20.3	26.7	22.3	8.9	2.0	36.1	3.0
90歳以上	166	16.6	10.2	11.6	9.0	7.1	16.6	23.9	16.1	6.2	3.2	46.2	1.9

問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（○は1つ）

「入所・入居は検討していない」が64.3%で最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が18.3%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が14.8%となっています。

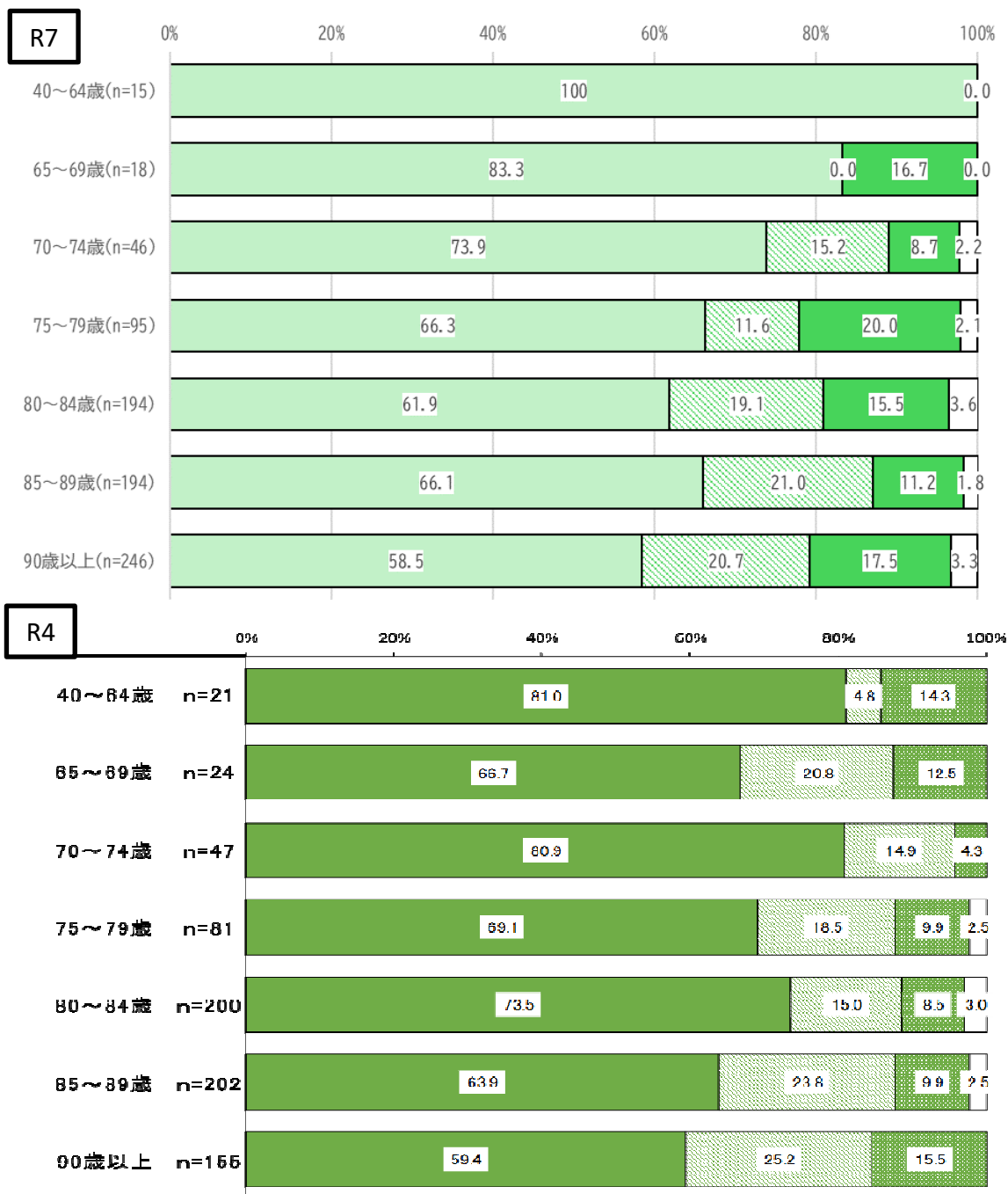
前回調査に比べると、主に「入所・入居は検討していない」（△3.2%）の割合が減少し、「すでに入所・入居申し込みをしている」（+4.1%）の割合が増加しています。



※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

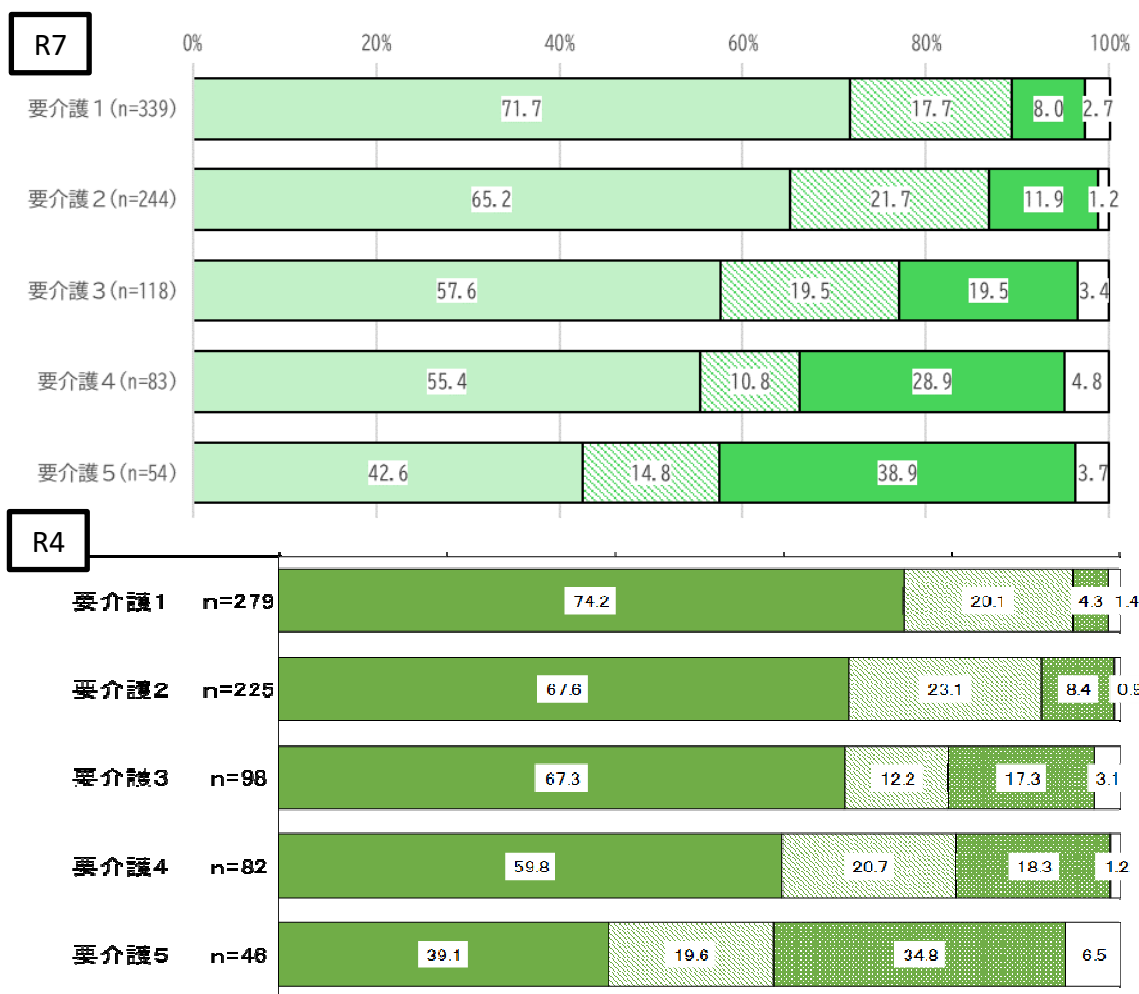
【年代別】

他の年代と比べ、75～79歳で「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合が高くなっています。



【要介護度別】

他の要介護度に比べ、要介護1で「入所・入居は検討していない」(71.7%)の割合が高く、要介護5で「すでに入所・入居申し込みをしている」(38.9%)の割合が高くなっています。



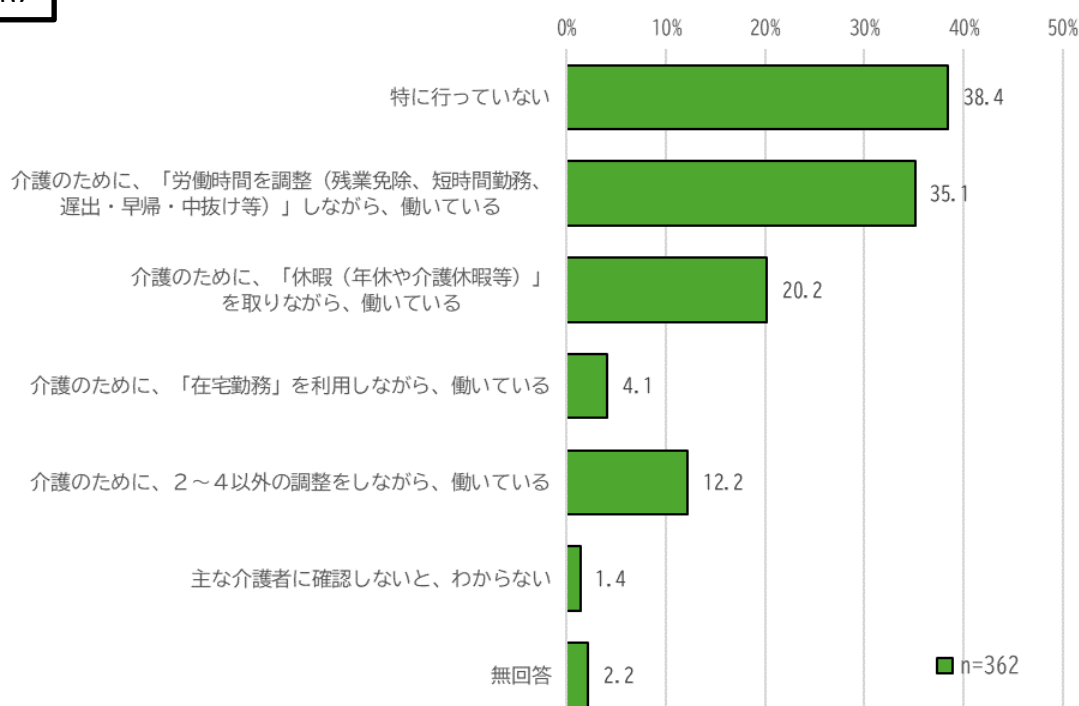
②B票 主な介護者様（もしくは調査対象者ご本人様）がお答えください

問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（〇はいくつでも）

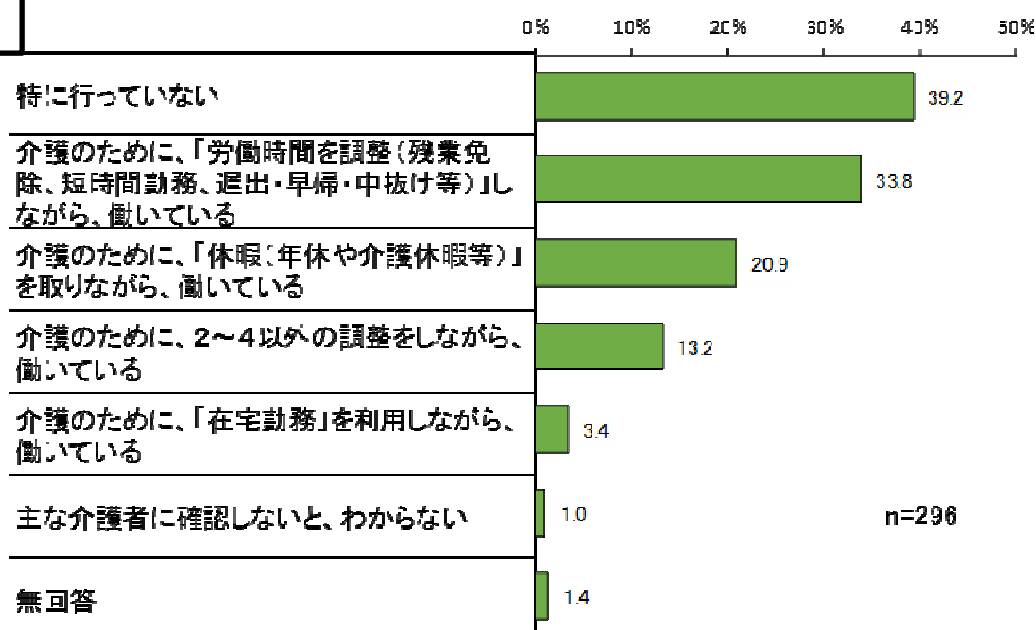
※「問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（〇は1つ）」で「1. フルタイムで働いている」または「2. パートタイムで働いている」と答えた方のみ以下の質問にお答えください

「特に行っていない」が38.4%で最も高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が35.1%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が20.2%となっています。
前回調査と大きな違いはありません。

R7



R4

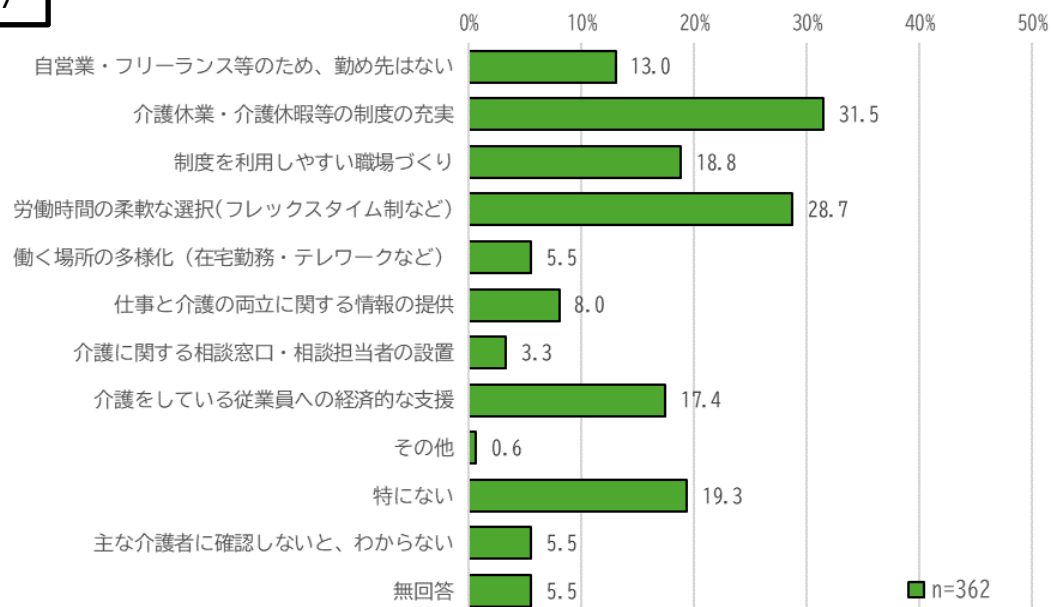


【新設】問3 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（〇は3つまで）

※問1で「1.」または「2.」と答えた方のみ以下の質問にお答えください

「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が31.5%で最も高く、次いで「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」が28.7%、「特にない」が19.3%となっています。

R7



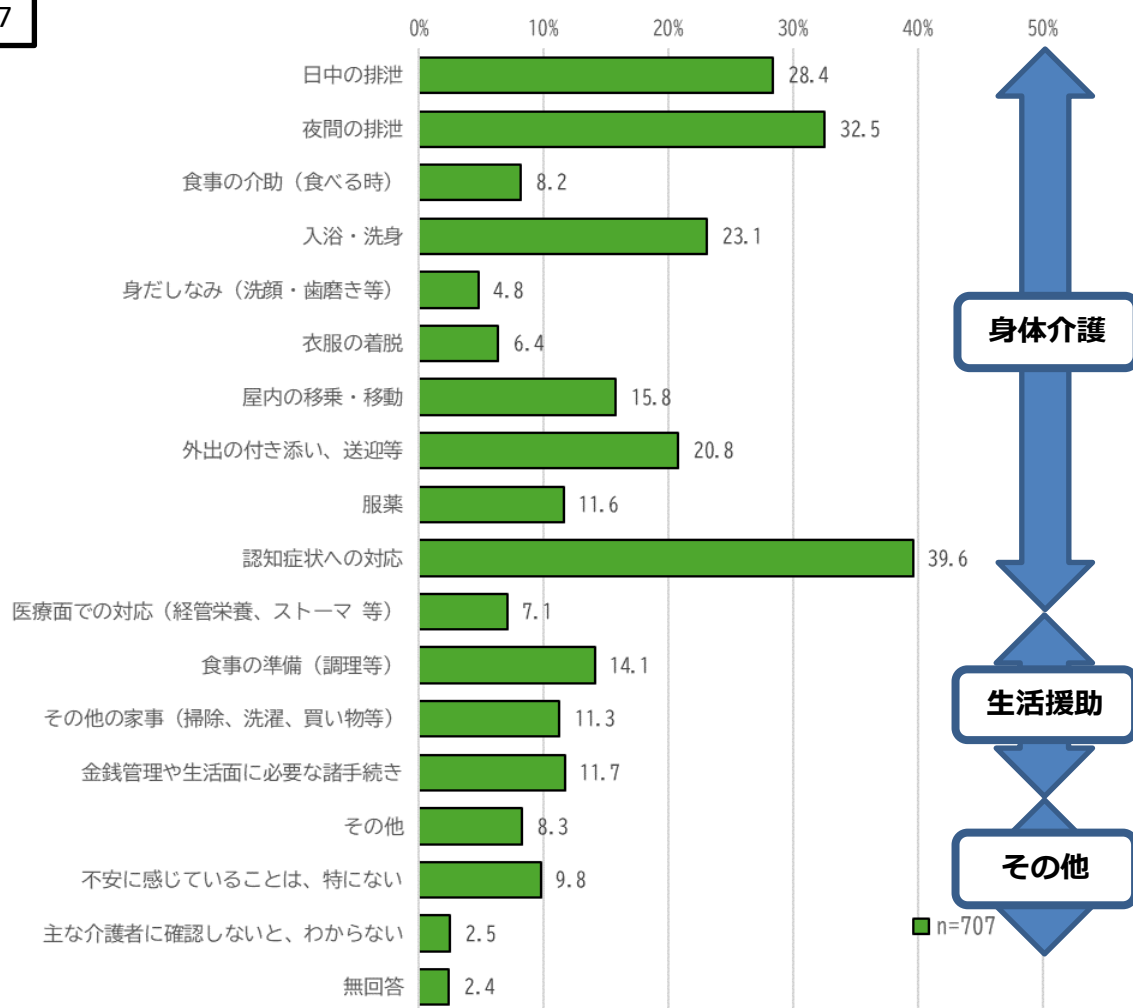
問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（○3つまで）

「認知症への対応」が39.6%で最も高く、次いで「夜間の排泄」が32.5%、「日中の排泄」が28.4%となっています。

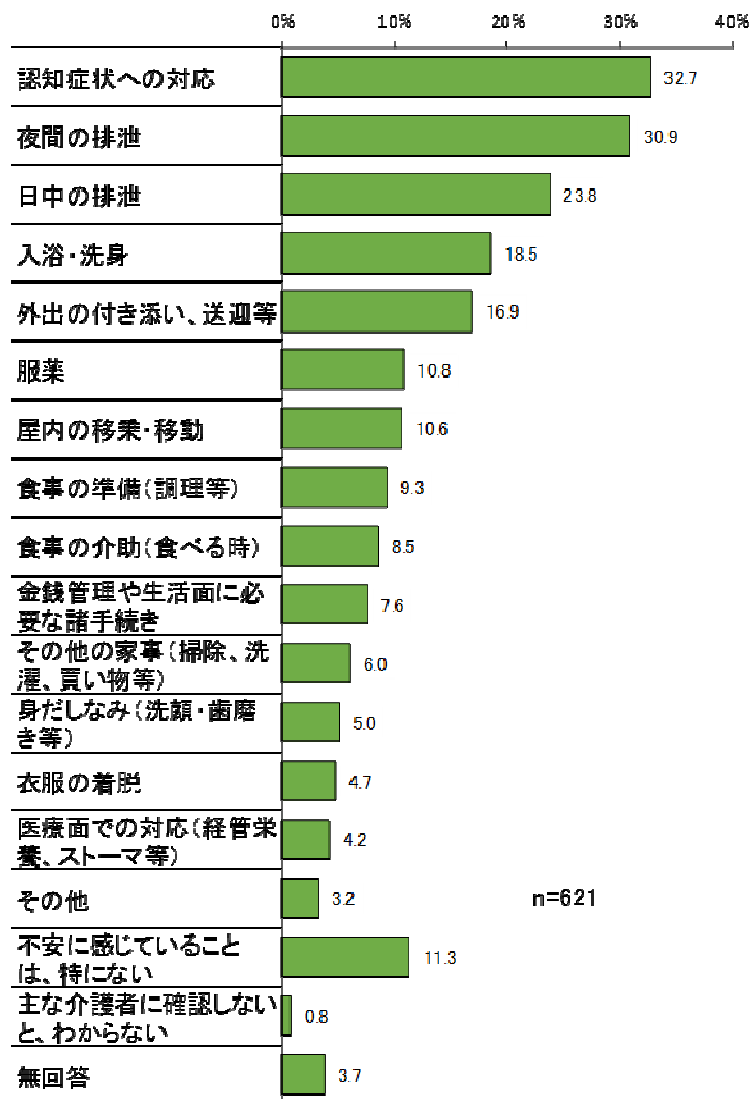
前回調査に比べると、身体介護においては、主に「認知症状への対応」（+6.9%）、「屋内の移乗・移動」（+5.2%）、「日中の排泄」（+4.6%）、「入浴・洗身」（+4.6%）の割合が増加しました。

生活援助においては、「食事の準備（調理等）」（+4.8%）、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」（+5.3%）、「金銭の管理や生活面に必要な諸手続き」（+4.1%）のすべての割合が増加しました。

R7



R4



【要介護度別】

他の要介護度と比べ、要介護5で「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(24.3%)の割合が高くなっています。

単位：%

R7	全体 (件数)	巨中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬
要介護1	289	32.5	32.5	5.9	24.9	5.9	5.9	12.8	22.1	14.5
要介護2	215	25.1	32.6	9.8	25.1	2.8	5.6	22.8	21.4	12.1
要介護3	98	28.6	35.7	9.2	20.4	5.1	8.2	14.3	18.4	10.2
要介護4	68	25.0	35.3	8.8	20.6	2.9	7.4	11.8	22.1	2.9
要介護5	37	21.6	18.9	13.5	8.1	10.8	8.1	10.8	10.8	5.4

	全体 (件数)	認知症状への対応	医療面での対応 (経管栄養、ストーマ等)	食事の準備 (調理等)	その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特にない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
要介護1	289	42.6	4.8	14.2	13.8	11.8	9.0	10.0	2.1	2.4
要介護2	215	40.0	5.6	13.5	8.8	9.8	6.5	8.8	2.8	1.4
要介護3	98	37.8	11.2	16.3	9.2	10.2	5.1	10.2	2.0	4.1
要介護4	68	38.2	10.3	14.7	10.3	13.2	8.8	4.4	5.9	2.9
要介護5	37	21.6	16.2	10.8	13.5	24.3	21.6	21.6	0.0	2.7

単位：％

R4	全体 (件)	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬
区分										

要介護度別

要介護 1	242	24.0	26.0	5.8	20.2	5.8	2.9	7.9	18.6	14.0
要介護 2	197	20.8	29.9	10.2	16.2	5.6	7.1	9.6	16.8	9.6
要介護 3	81	30.9	48.1	7.4	22.2	4.9	3.7	12.3	21.0	9.9
要介護 4	64	29.7	32.8	6.3	15.6	3.1	6.3	17.2	12.5	1.6
要介護 5	32	18.8	28.1	28.1	9.4	0.0	3.1	18.8	3.1	12.5

区分	全体 (件)	認知症状への対応	至療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	洗濯、買い物等	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特になし	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
----	-----------	----------	---------------------	------------	---------	--------------------	------------------	-----	------------------	--------------------	-----

要介護度別

要介護 1	242	41.7	2.1	9.9	6.6	8.3	2.5	10.3	0.8	4.1
要介護 2	197	32.0	5.6	9.1	8.6	7.6	3.0	8.6	1.5	3.6
要介護 3	81	25.9	3.7	8.6	1.2	3.7	2.5	14.8	0.0	3.7
要介護 4	64	18.8	6.3	7.8	1.6	9.4	7.8	15.6	0.0	3.1
要介護 5	32	18.8	9.4	12.5	3.1	9.4	3.1	15.6	0.0	3.1

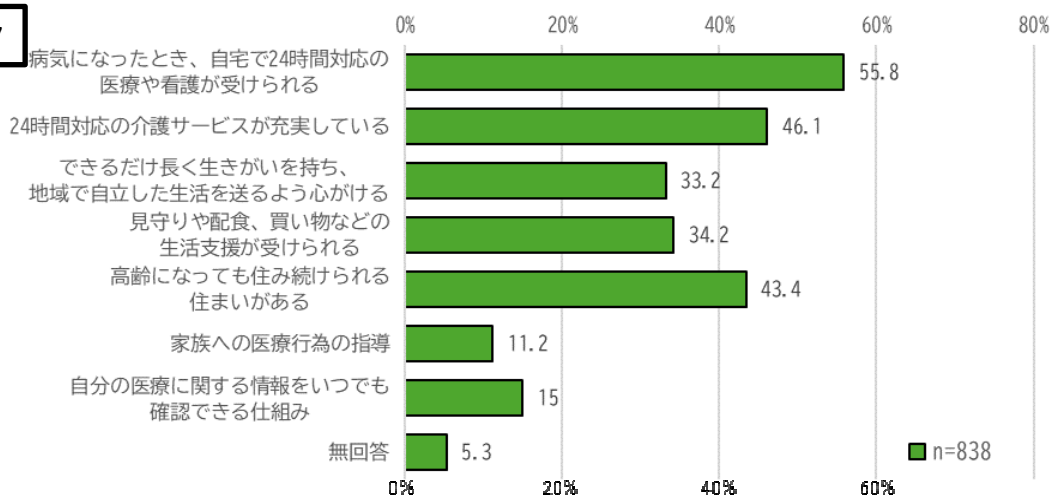
【独自】③C票 調査対象者ご本人様がお答えください

問2 あなたが住み慣れた地域・自宅で自分らしい暮らしを続けるために、何が重要だと思いますか（〇はいくつでも）

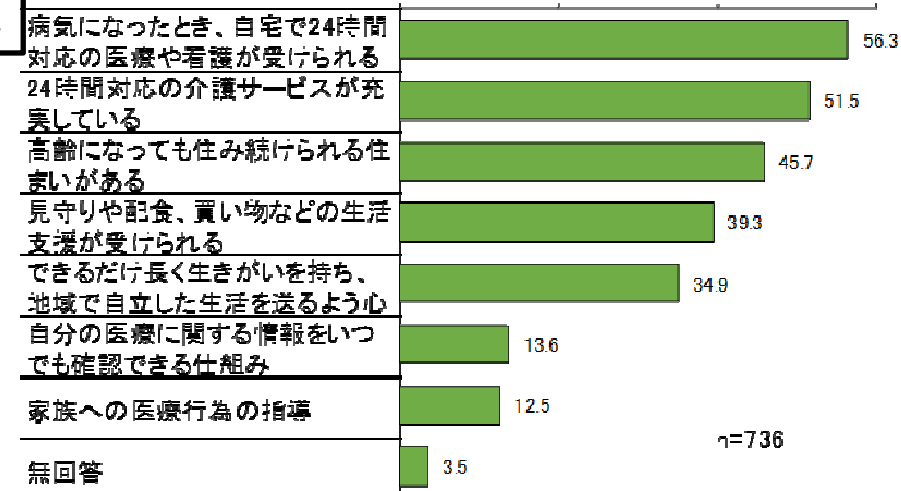
「病気になったとき、自宅で24時間対応の医療や看護が受けられる」が55.8%で最も高く。次いで「24時間対応の介護サービスが充実している」が46.1%、「高齢になっても住み続けられる住まいがある」が43.4%となっています。

前回調査に比べると、主に「24時間対応の介護サービスが充実している」（△5.4%）、「見守りや配食、買い物などの生活支援が受けられる」（△5.1%）の割合が減少しています。

R7



R4



【年代別】

他の年代に比べ、40～64歳で「家族への医療行為の指導」（33.3％）の割合が高い。

単位：％

R7	全体（件数）	病気が なったとき、 自宅での 医療や看護 が受けられ る	24時間 対応の介護 サービスが 充実してい る	できるだけ 長く生きが いを持ち、 地域で自立 した生活を送 るよう心が ける	見守りや配 食、買い物 などの生活 支援を受け られる	高齢になっ ても住み続 けられる住 まいがある	家族への医 療行為の指 導	自分の医療 に関する情 報をいつも 確認でき る仕組み	無回答
40～64歳	15	66.7	53.3	53.3	46.7	53.3	33.3	23.7	0.0
65～69歳	18	44.4	55.6	22.2	33.3	38.9	11.1	38.9	11.1
70～74歳	46	54.3	54.3	41.3	37.0	47.8	19.6	30.4	6.6
75～79歳	96	63.2	43.2	30.6	34.7	41.1	8.4	13.7	2.1
80～84歳	194	53.1	43.8	37.1	33.0	44.8	13.9	19.0	4.1
85～89歳	224	54.9	42.4	31.3	43.3	46.7	9.4	12.5	5.4
90歳以上	246	56.5	49.6	30.9	25.6	37.4	8.9	10.2	6.9
北部圏域	359	56.8	46.8	32.9	36.8	43.7	10.9	17.3	5.6
中部圏域	320	56.3	45.0	35.3	32.8	44.1	12.8	14.7	5.0
南部圏域	158	53.2	46.8	29.1	31.6	41.8	8.9	10.8	5.1

単位：％

R4	全体（件数）	病気が なったとき、 自宅での 医療や看護 が受けられ る	24時間 対応の介護 サービスが 充実してい る	できるだけ 長く生きが いを持ち、 地域で自立 した生活を送 るよう心が ける	見守りや配 食、買い物 などの生活 支援を受け られる	高齢になっ ても住み続 けられる住 まいがある	家族への医 療行為の指 導	自分の医療 に関する情 報をいつも 確認でき る仕組み	無回答
区分									

年代別

40～64歳	21	57.1	42.9	28.6	42.9	52.4	14.3	19.0	0.0
65～69歳	24	41.7	37.5	25.0	16.7	37.5	8.3	16.7	8.3
70～74歳	47	55.3	53.2	44.7	38.3	48.9	8.5	12.8	2.1
75～79歳	81	60.5	51.9	23.5	43.2	37.0	11.1	13.6	3.7
80～84歳	200	49.5	44.5	30.0	38.0	47.5	11.5	15.5	4.0
85～89歳	202	61.4	37.9	39.6	42.1	45.3	15.3	12.4	3.0
90歳以上	158	58.1	54.2	29.7	38.7	47.7	12.9	12.3	3.2

圏域別

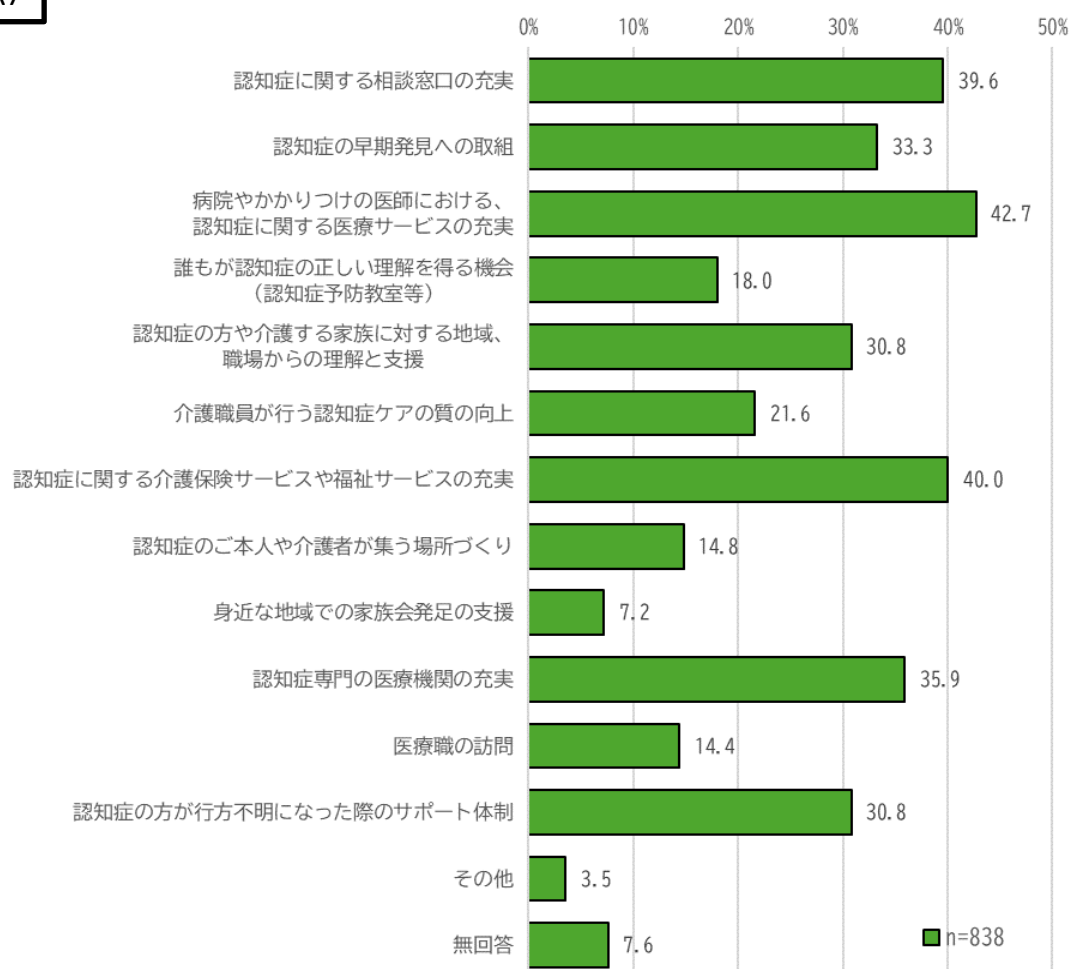
北部圏域	253	56.1	52.0	39.5	43.5	46.1	13.0	14.2	4.7
中部圏域	259	57.9	51.7	31.3	38.6	44.0	12.7	12.4	3.5
南部圏域	208	55.8	48.5	34.5	35.4	48.1	11.7	15.0	1.9

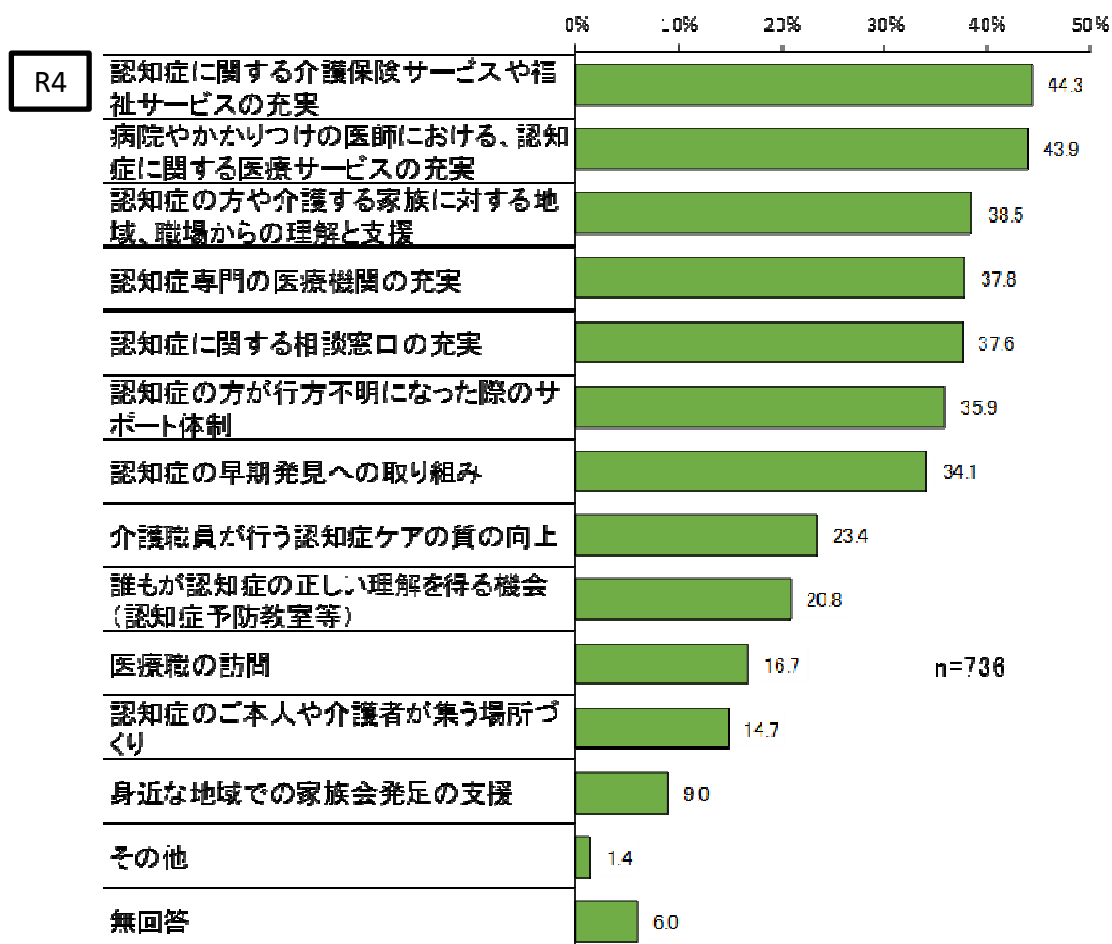
問3 認知症の方に対する支援として、どのようなことが必要だと思いますか（〇はいくつでも）

「病院やかかりつけの医師における、認知症に関する医療サービスの充実」が42.7%で最も高く、次いで「認知症に関する介護保険サービスや福祉サービスの充実」が40.0%、「認知症に関する相談窓口の充実」が39.6%となっています。

前回調査に比べると、主に「認知症の方や介護する家族に対する地域、職場からの理解と支援」（△7.7%）、「認知症の方が行方不明になった際のサポート体制」（△5.1%）、「認知症に関する介護保険サービスや福祉サービスの充実」（△4.3%）の割合が減少しています。

R7



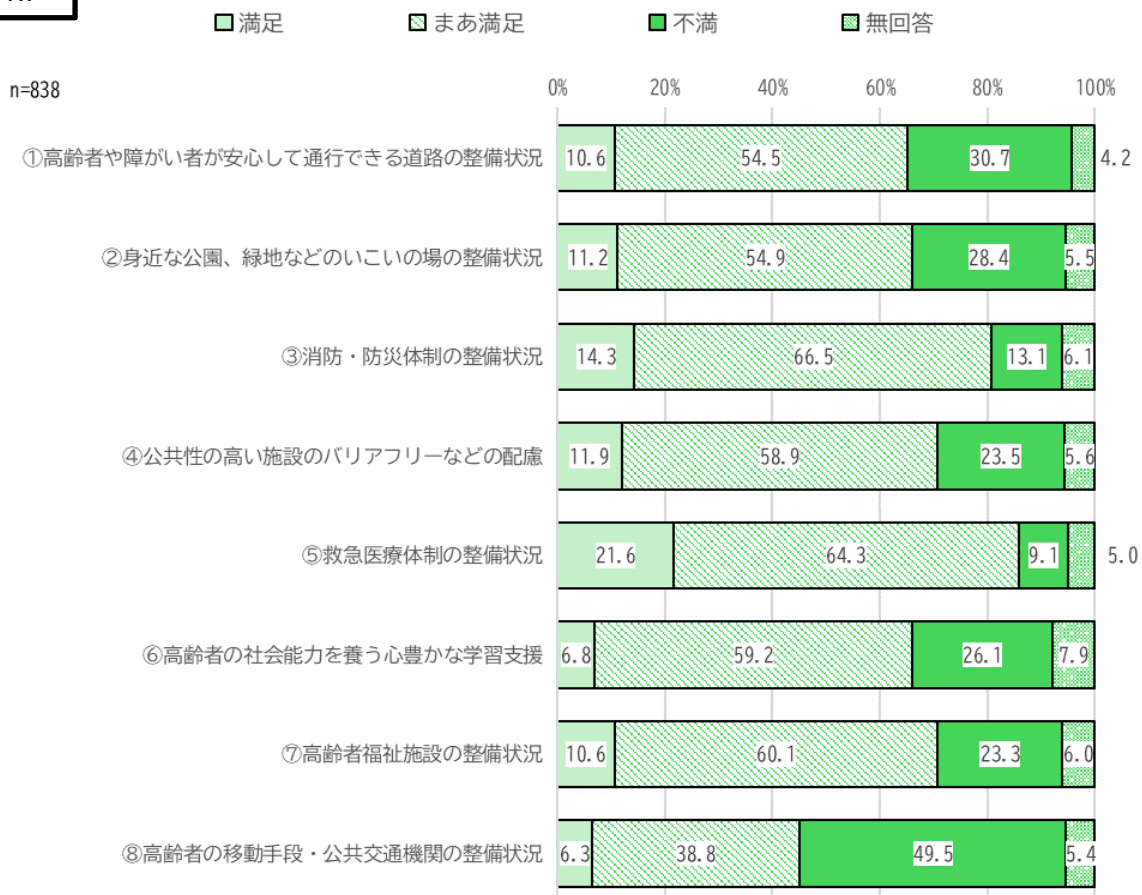


【新設】問6 高齢者社会への対応について、自宅周辺の生活環境についてどのように感じていますか（①～⑧それぞれに回答してください）
（〇はそれぞれに1つ）

他と比べて、「⑤救急医療体制の整備状況」で「満足」（21.6%）が高くなっています。

全体的に「満足」と「まあ満足」の合計が「不満」を上回っているが、「⑧高齢者の移動手段・公共交通機関の整備状況」では「不満」（49.5%）を感じる人の方が多くなっています。

R7



(3) 終末期の考え方について

【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

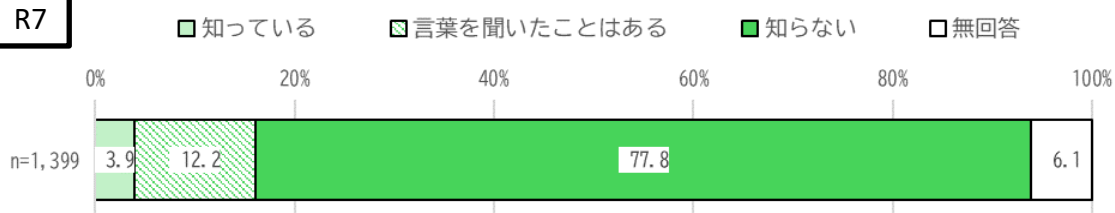
問10 終末期の考え方について

(2) 「人生会議」または「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)※」について、知っていますか (○は1つ)

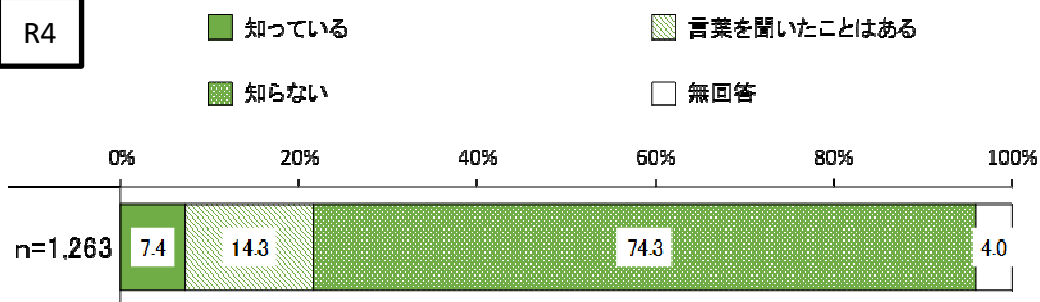
※万が一のときに備えて、どのような治療やケアを希望するかについて、家族等やかかりつけ医等と繰り返し話し合うこと

「知らない」が77.8%で最も高く、次いで「言葉を聞いたことはある」が12.2%、「知っている」が3.9%となっています。

R7



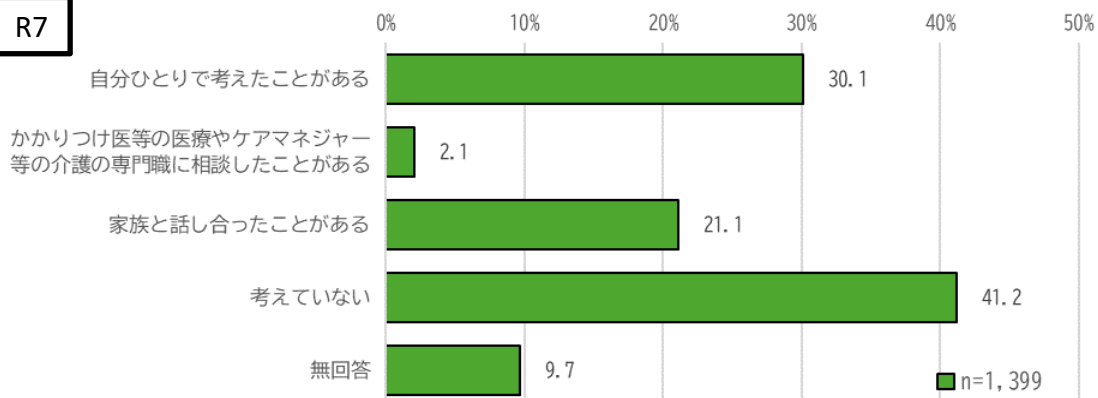
R4



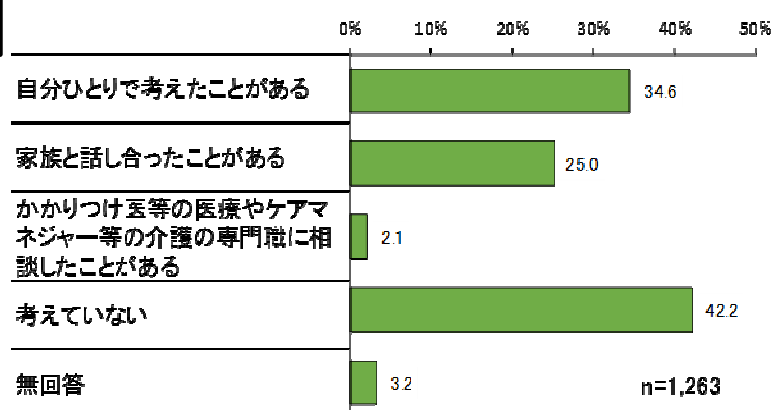
(3) あなたは、万が一の時に備えて、どのような治療やケアを希望するかについて、考えていますか (いくつでも)

「自分ひとりで考えたことがある」が30.1%、「家族と話し合ったことがある」が21.1%である一方、「考えていない」は41.2%で最も高い。

R7

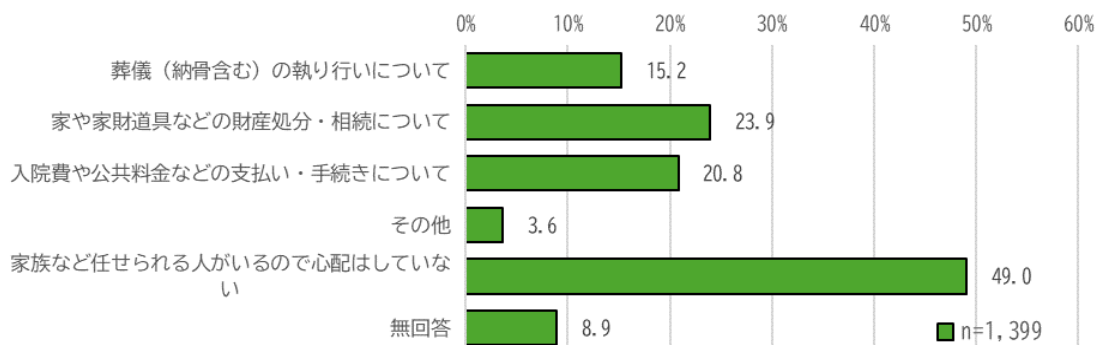


R4



(4) 万が一の場合、不安に感じていることは何ですか (〇はいくつでも)

「家や家財道具などの財産処分・相続について」が23.9%、「入院費や公共料金などの支払い・手続きについて」が23.8%である一方、「家族など任せられる人がいるので心配はしていない」は49.0%で最も高い。

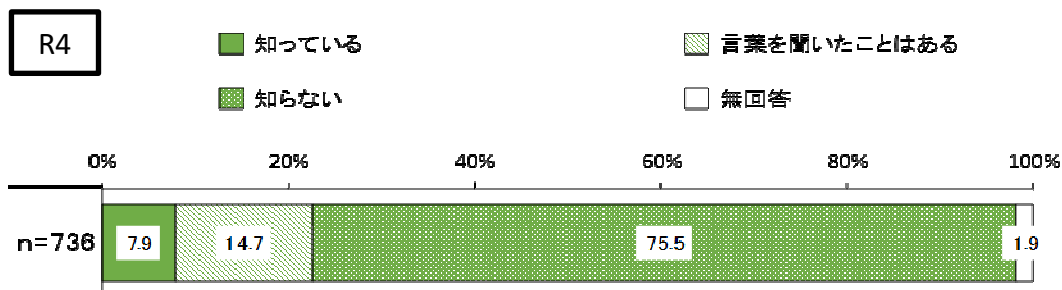
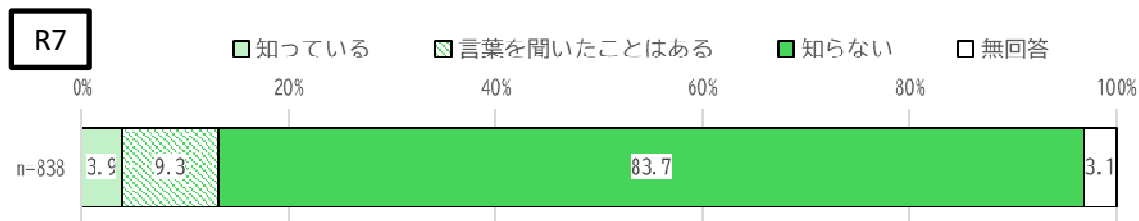


【在宅介護実態調査】

問5-1 「人生会議」または「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)※」について、知っていますか (〇は1つ)

※万が一のときに備えて、どのような治療やケアを希望するかについて、家族等やかかりつけ医等と繰り返し話し合うこと

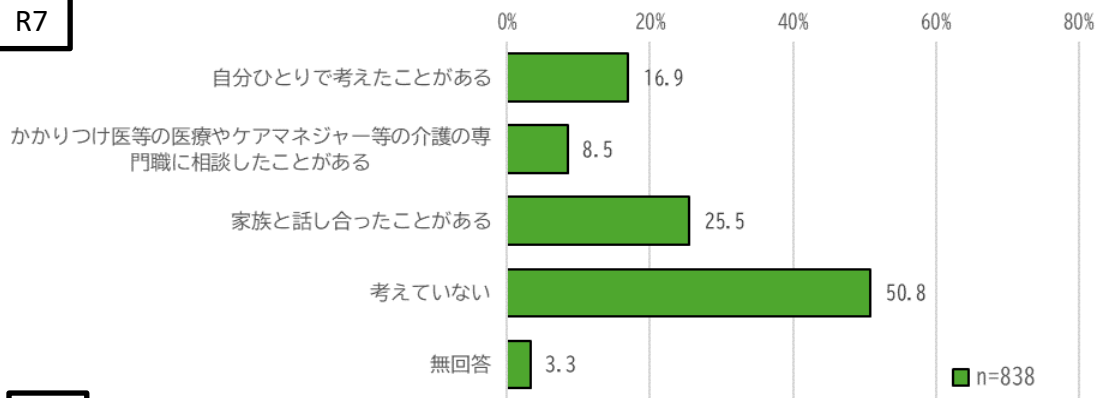
「知らない」が最も高く、次いで「言葉を聞いたことはある」が9.3%、「知っている」が3.9%となっています。



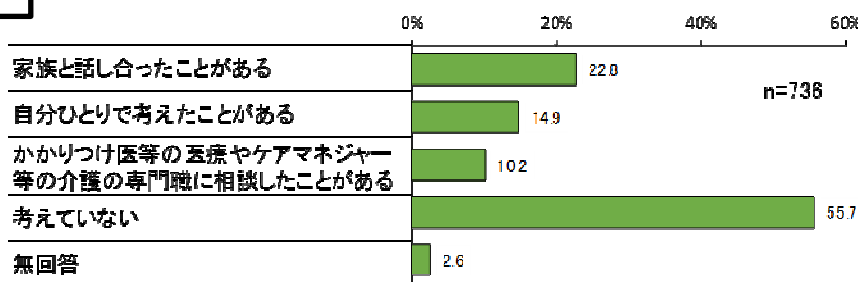
問5 - 2 あなたは、万が一のときに備えて、どのような治療やケアを希望するかについて、考えていますか。（〇はいくつでも）

「考えていない」は50.8%で最も高く、次いで「家族と話し合ったことがある」が25.5%、「自分ひとりで考えたことがある」が16.9%、「かかりつけ医等の医療やケアマネジャー等の介護の専門職に相談したことがある」が8.5%となっています。

R7



R4



問5 - 4 万が一の場合、不安に感じていることは何ですか（〇はいくつでも）

「家や家財道具などの財産処分・相続について」が16.5%、「入院費や公共料金などの支払い・手続きについて」が14.8%、「葬儀（納骨含む）の執り行いについて」が12.5%となっています。一方、「家族など任せられる人がいるので、心配はしていない」が63.2%で最も高くなっています。

